

志布志小学校南側校舎老朽化改修工事

図 面 リ ス ト							
建 築 工 事		建 築 工 事		建 築 工 事		建 築 工 事	
番 号	図面名称	番 号	図面名称	番 号	図面名称	番 号	図面名称
A-01	図面リスト	A-22	既存2階平面図	A-43	1・2階建具配置図	打診-01	外壁打診図 西側立面図（南側校舎）
A-02	建築改修工事特記仕様書（1）	A-23	改修2階平面図	A-44	3・R階建具配置図	打診-02	外壁打診図 東側立面図（南側校舎）
A-03	建築改修工事特記仕様書（2）	A-24	既存3階平面図	A-45	建具表	打診-03	外壁打診図 南側立面図（南側校舎）
A-04	建築改修工事特記仕様書（3）	A-25	改修3階平面図	A-46	部分詳細図（1）	打診-04	外壁打診図 北側立面図（南側校舎）
A-05	建築改修工事特記仕様書（4）	A-26	1階天井伏図	A-47	部分詳細図（2）	打診-05	外壁打診図 2階バルコニー見上図（南側校舎）
A-06	建築改修工事特記仕様書（5）	A-27	2階天井伏図	A-48	トイレ・渡り廊下 仕上表・平面図・断面図・立面図・建具表	打診-06	外壁打診図 3階バルコニー見上図（南側校舎）
A-07	建築改修工事特記仕様書（6）	A-28	3階天井伏図	A-49	屋外トイレ・渡り廊下 平面詳細図・矩計図・展開図	打診-07	外壁打診図 R階見上図（南側校舎）
A-08	建築改修工事特記仕様書（7）	A-29	既存屋根伏図	A-50	教室平面詳細図	打診-08	外壁打診図 屋根伏図（南側校舎）
A-09	建築改修工事特記仕様書（8）	A-30	改修屋根伏図	A-51	改修銅製建具図・家具図	打診-09	外壁打診図 渡り廊下断面図（1）
A-10	建築改修工事特記仕様書（9）	A-31	立面図（1）	A-52	改修トイレ平面図	打診-10	外壁打診図 渡り廊下断面図（2）
A-11	建築改修工事特記仕様書（10）	A-32	立面図（2）	A-53	改修トイレ展開図・建具図・天井伏図	打診-11	外壁打診図 渡り廊下断面図（3）
A-12	建築改修工事特記仕様書（11）	A-33	断面図			打診-12	外壁打診図 渡り廊下見上図
A-13	建築改修工事特記仕様書（12）	A-34	矩計図				
A-14	建築改修工事特記仕様書（13）	A-35	渡り廊下矩計図				
A-15	外壁改修特記仕様書	A-36	屋内階段詳細図				
A-16	付近見取図・配置図・仮設計画図	A-37	屋外階段 平面詳細図・断面詳細図				
A-17	既存設計概要仕上表	A-38	昇降口 平面詳細図・展開図				
A-18	改修設計概要仕上表（1）	A-39	教室 平面詳細図・断面詳細図				
A-19	改修設計概要仕上表（2）	A-40	資料室 平面詳細図・展開図				
A-20	既存1階平面図	A-41	コンテナホーム 平面詳細図・展開図				
A-21	改修1階平面図	A-42	トイレ 平面詳細図・断面詳細図				

②

仮設工事

①

足場その他

外部足場

○設置する
・設置しない

(設置範囲
工事に必要な範囲・)

[2.2.1] [表 2.2.1]

種類

外部足場等

※A種

施工箇所面に枠組足場を設ける

・B種

施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける

・C種

施工箇所面に単管本足場を設ける

・D種

仮設ゴンドラを使用する

・E種

移動式足場を使用する

防護シートによる養生

・設置する
(設置範囲
工事に必要な範囲・)

内部足場

※脚立、足場板等

材料、撤去材等の運搬方法

・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種

②

既存部分の養生

既存部分の養生

○行う
・行わない

[2.3.1]

養生方法

※ビニルシート、合板等による
・()

既存部分の特別養生

・行う

[2.3.1]

設置範囲及び養生方法

※図示
・()

既存家具、既存設備等の養生

※ビニルシート、合板等による
・()

[2.3.1]

開口部の養生

・行う
・行わない

養生方法

・合板張りによる
・()

・設置範囲 ※図示
・()

固定された備品、机、ロッカー等の移動

※行わない
・行う (図示)

[2.3.1]

③

仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種類

[2.3.2] [表2.3.1]

種 別

材 質

仕 上 げ

・A種

・せっこうボード厚9.5両面張り グラスウール充填厚さ ()

・片面塗装

※B種

・せっこうボード厚9.5片面張り
・合板厚9片面張り

・片面塗装

・C種

※シート張り

—

・仮設扉

※合板張り木製扉 程度

・

④

監督員事務所

・設ける

・設ける (既存建築物の一部を使用する)

・設けない

面積規模 (・10㎡ ・20㎡ ・35㎡ ・65㎡ ・100㎡ ・()㎡) 程度

仕上げる程度、設置する設備、備品等の種類及び数量は現場説明書による。

⑤

工事用水

構内既存の施設

※利用できる (※有償 ・無償)

・利用できない

⑥

工事用電力

構内既存の施設

・利用できる (※有償 ・無償)

※利用できない

⑦

現場表示板

規格

※下図による

・監督職員の承諾による

材質

※県産杉板

・監督職員の承諾による

工事名

工事

発注者

設計者

監理者

施工者

工期令和 年 月 日～令和 年 月 日

※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に対し安全な工法とする

4

防水改修工事

1

共通事項

施工機謙

※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に機謙を取り付ける

改修用ドレン (POAS、POAS1、POD、POD1、POS、POS1、POXの場合)

取付方法等は、ルーフィング類製造所の仕様による

2

降雨等に対する養生方法(とい共)

※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による

・()

[3.1.3]

3

既存防水の処理

既存保護層の撤去

・行う (範囲 ・図示
・())

・行わない

[3.2.3.4.6]

既存防水層の撤去

・行う (範囲 ・図示
・())

・行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装除去

・行う (・M4AS・M4AS1・M4C・M4D1・L4X)

・行わない

4

既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等

※図示
・

[3.2.6]

POS工法及びPOSI工法 (機械式固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理

・補修

※改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(g)①～③による。

設備機器架台、配管受部、バラベット、貫通パイプ廻り、手すり・丸環の取付け部

塵出入口等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理

・図示

※監督職員と協議する

5

アスファルト防水

屋根保護防水

[3.3.2～5]

防水層の種類

工 法

種 別

施工箇所

断熱材 ☒ G

絶縁用シート

立上り部の保護

・P2A

・A-1
※A-2
・A-3

※ポリエチレン
フィルム
厚さ0.15mm以上
・

・P1B

・B-1
※B-2
・B-3

・P2A1

・A1-1
※A1-2
・A1-3

(材質)
※JIS A 9512に基づく押出法ポリ

※フラットヤーン

・P1B1

・B1-1
※B1-2
・B1-3

スチレンフォーム断熱材3種bA

クロス

70g/㎡2程度

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

用途による区分
・

材料構成による区分
※R種

厚さ
・ mm以上

※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

用途による区分
・

材料構成による区分
※R種

厚さ
・ mm以上

※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ ※水下 80mm以上
・

床タイル張り ※水下 60mm以上
・

・乾式保護材

産業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し
オートクレープ養生したもの

金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの
(品質・性能・試験方法)

建築材料等品質性能表による

屋根露出防水

高日射反射率防水の適用 ☒ ・有 ※無

防水層の種類

工 法

種 別

施工箇所

断熱材 ☒ G

仕上塗料

高日射反射率防水の適用 ☒ G

備考

・M4C

・C-1
※C-2
・C-3
・C-4

・アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

※アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

・

・M3D

・D-1
※D-2
・D-3

・アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

※アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

・

・脱気装置
・設ける・設けない
改修用ドレン
・設ける・設けない

・POD1

・D1-1
※D1-2

改修標準仕様書
3.3.2(9)
(種類)
・
(厚さ)
・25mm

・アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

※アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

・

脱気装置
・設ける・設けない
改修用ドレン
・設ける・設けない

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

設置数量
※アスファルトルーフィング類製造所の指定による
・脱気装置
・ 個

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示
・

屋内防水

工 法

種 別

施工箇所

保護層

・P1E

・E-1

・設ける

・P2E

※E-2

・設けない

・E-1の工程3を行う部位 (・ ※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)

押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

屋根排水溝 ※図示
・

4

防水改修工事(続き)

6

改質アスファルトシート防水

高日射反射率防水の適用 ☒ ・有 ※無

防水層の種類

工 法

種 別

施工箇所

断熱材 ☒ G

仕上塗料

高日射反射率防水の適用 ☒ G

備 考

・M4AS

・AS-T1
・AS-T2
・AS-J2

・アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

※アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

・

・M3AS

・AS-T3
・AS-T4
・AS-J1

・アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

※アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

・

脱気装置
・設ける
・設けない
改修用ドレン
・設ける
・設けない

・POAS

・AS-T3
・AS-T4
・AS-J1
・AS-J3

・アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

※アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

・

脱気装置
・設ける
・設けない
改修用ドレン
・設ける
・設けない

・M3AS1

・AS1-T1
・AS1-J1

改修標準仕様書
3.3.2(9)
(種類)
・
(厚さ)
・25mm

・アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

※アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様
による

・

脱気装置
・設ける
・設けない
改修用ドレン
・設ける
・設けない
防湿層
・設ける
・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

用途による区分
・

材料構成による区分
※R種

厚さ
・ mm以上

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

用途による区分
・

材料構成による区分
※R種

厚さ
・ mm以上

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

用途による区分
・

材料構成による区分
※R種

厚さ
・ mm以上

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類
※改質アスファルトシート類の製造所の指定
・
・脱気装置
・ 個
※改質アスファルトシート類の製造所の指定

屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿シート (・設置する
・設置しない)

押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

7

合成高分子系ルーフィングシート防水

高日射反射率防水の適用 ☒ ・有 ※無

防水層の種類

工 法

種 別

施工箇所

断熱材 ☒ G

仕上塗料

高日射反射率防水の適用 ☒ G

備 考

・POS

・S-F1
・S-F2
・S-M1
・S-M2
・S-M3

・ルーフィング
シート
の製造所の仕様
による

※ルーフィング
シート
の製造所の仕様
による

・

脱気装置
・設ける
・設けない
改修用ドレン
・設ける
・設けない

・S3S

・S-F1
・S-F2

・ルーフィング
シート
の製造所の仕様
による

※ルーフィング
シート
の製造所の仕様
による

・

脱気装置
・設ける
・設けない

・M4S

・S-M1
・S-M2
・S-M3

・ルーフィング
シート
の製造所の仕様
による

※ルーフィング
シート
の製造所の仕様
による

・

脱気装置
・設ける
・設けない

・POS1

・S3S1

・S4S1

・M4S1

・S1-F1
・S1-F2

・改修標準仕様書
3.5.2(3)(1)(b)
による
(種類)
・
(厚さ)
※25mm ・50mm
・改修標準仕様書
3.5.2(3)(1)(a)
による
(種類)
・
(厚さ)
※25mm ・50mm

・ルーフィング
シート
の製造所の仕様
による

※ルーフィング
シート
の製造所の仕様
による

・

脱気装置
・設ける
・設けない
改修用ドレン
・設ける
・設けない

・S-M2の場合で立上りが接着工法の場合
立上り面のシート厚さ (・ ※1.5mm)

・S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム (・設置する
・設置しない)

⑨ シーリング

④ 防水改修工事（続き）

11 アルミニウム製笠木

12 保証書及び期間

⑤ 外壁改修工事

⑤-1 外壁改修工事ンクリート打放し仕上げ外壁

5-2 外壁改修工事ルタル塗り仕上げ外壁

③ 欠損部改修工事

04

5-5	外壁改修工事 塗り上げ外壁 (続き)	5	マステック塗材塗り	種別	・A種	・B種	(仕上材塗りEP-G ※B種	・A種)	[4.7.2] [表4.7.1]
		6	外壁改修数量表						
6	建具改修工事	1	改修工事	性能等級	[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				
					[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				
7	建具改修工事 (続き)	2	防火戸	性能等級	[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				
					[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				
8	建具改修工事 (続き)	3	防犯建物部品	性能等級	[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				
					[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				
9	建具改修工事 (続き)	4	アルミニウム製建具	性能等級	[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				
					[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				
10	建具改修工事 (続き)	5	網戸等	性能等級	[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				
					[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				
11	建具改修工事 (続き)	6	樹脂製建具	性能等級	[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				
					[5.2.2] [5.2.2~5] [表5.2.2]				

⑦

内装改修工事（続き）

21

壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

[6.14.2、3]

施 工 箇 所	壁紙の種類					防火種別	商品名(程度)
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整 ※RB種 ・
コンクリート・ALCパネル面の下地調整 ※RB種 ・
せっこうボード面の下地調整 ※RB種 ・

22

モルタル塗り

[6.15.3、6]

吸水調整材は、改修標準仕様書4.2.2による
既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・ ）
・設けない
床の目地 ・設ける（工法※押し目地 ・ ）
（目地割り ※2m2程度 ・ ）
（最大目地間隔 ※3m程度 ・ ）
・設けない

23

タイル張り

[6.16.2～4]

伸縮調整目地の位置 床タイル（※縦、横とも4m以内ごと ・図示 ・ ）
床タイル以外（・図示 ・ ）
伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	注 吸水率による区分					わぐすり	役物	色		再生材料	耐凍害性	耐滑り性	備考
		I 類	II 類	III 類	施ゆ	無			標準	特注				
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ※行わない
見本焼き ・行う ※行わない
既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材
混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（品質・性能・試験方法）
建築材料等品質性能表による

※接着剤による陶磁器質タイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	注 吸水率による区分					わぐすり	役物	色		再生材料	耐凍害性	耐滑り性	備考
		I 類	II 類	III 類	施ゆ	無			標準	特注				
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ※行わない
見本焼き ・行う ※行わない

内装壁タイル接着材張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

24

セルフレベリング材塗り

種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系
標準塗厚(mm) ・

[6.17.2、3]

9 環境配慮改修工事

工 程	塗料その他			塗付け量 (kg/m ²)
	規格番号	規格名称	種類	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射 反射率塗料	2 種	・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 塗料製造所の 仕様による

打直しコンクリート面保護工法		
(下塗材)	水性	浸透性吸水防止材
(上塗材)	・水性フッ素樹脂クリヤー ・水性フッ素樹脂カラークリヤー	

素 材	焼付種別	仕 上 げ	コート	ベーク	部 位
・ アルミニウム	・ フッ素樹脂	・ ソリッド ・ メタリック			
	・ ウレタン樹脂				
	・ アクリル樹脂				
・ ステンレス	・ フッ素樹脂	・ ソリッド ・ メタリック			
	・ ウレタン樹脂				
	・ アクリル樹脂				
・ 亜鉛めっき銅板	・ フッ素樹脂	・ ソリッド ・ メタリック			
	・ ウレタン樹脂				
	・ アクリル樹脂				

[illegible]

表示形態の変更

石綿粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点			[9.1.1]
適用	測定名称	測定時期	測 定 場 所 備 考 (各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内 計 点
・	測定 2		調査対象室外部の付近 計 点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内 計 点
・	測定 4		セキュリティゾーン入口 計 点
・	測定 5		負圧・除じん装置の排出口 出口吹き出し風速 (処理作業室外の場合) 1m/s以下の位置
・	測定 6		処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 計 点
・	測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内 計 点
・	測定 8	処理作業後シート	処理作業室内 計 点
・	測定 9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近 計 点

測定名称	メンブレンフィルター 直径 (mm)	試料の吸引 流量 (L/min)	試料の吸引 時間 (min)
・測定 4 ・測定 5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

・自動測定機による測定	
測定名称	測定方法
・測定 4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

[9.1.13~5]

9 環境配慮改修工事（続き）

外断熱改修工事 ㊦

表示形態の変更

4 断熱・防露改修工事

5 屋上緑化改修工事 〇

9環境配慮改修工事(続き)

6透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用※図示・

路床

路床の材料

種別	材料	厚さ (mm)
・盛土	・A種 ※B種・C種・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示・
・凍上抑制層	※再生クラッシャーオン G ・クラッシャラン ・切込み砂利・	・図示・
・フィルター層	※砂・	・図示・

路床安定処理・適用する・適用しない

路床安定処理の方法

・添加材料による安定処理

種類	・普通ポルトランドセメント ・フライッシュセメントB種 ・消石灰 (・特号・1号)	・高強度セメントB種 G ・生石灰 (・特号・1号)
----	---	-------------------------------

添加量 kg/m² (目標CBR・3以上・)

目標CBRを満足する添量量の確認方法

・安定処理土のCBR試験・

試験

砂の粒度試験・行う・行わない

路床土の支持力比 (CBR) 試験・行う・行わない

現場CBR試験・行う・行わない

路床締固め度の試験・行う・行わない

路盤

路盤の構成及び厚さ・図示・

路盤材料の種類

路盤材料の種類	
・再生材	・クラッシャラン ・粒度調整碎石
※再生材	※クラッシャラン G ・粒度調整碎石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G	
・粒度調整鉄鋼スラグ G	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G	

舗装の構成※図示・

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験※行う・行わない

舗装の平たん性※著しい不陸がないもの

7PCB含有シーリング材

・サンプリングの採取(1次分析用)
※現場においてサンプリングを採取する

採取箇所※外壁目地・図示・

採取箇所数※部材が異なるごとに1箇所・() 箇所

・サンプリングの採取(2次分析用)
※現場においてサンプリングを採取する

採取箇所※外壁目地・図示・

採取箇所数・() 箇所

・免注者より貸与する
分析個数・() 箇所

1)採取作業はシーリング等が散逸することのないよう注意して行う。
2)シーリング材は目地に打設されている形状のまま5cm程度をカッターナイフで切断しただちにポリエチレン製の密封袋に保管し、No及び採取場所を記入する。
サンプルは1袋に1つずつ入れること。
3)カッターナイフの刃は、1つのサンプルを採取する毎に新しい部分に変えること。
4)シーリング材を切除した部分は必要に応じて補修すること。補修材料は特記仕様書による
5)皮膚との接触を避けるため保護手袋及び保護マスクを着用する。
6)休息時及び作業終了後には必ず手洗いをを行う。
7)作業後は周囲を清掃し、散逸物を回収する。回収物はサンプリング残渣
その他のごみに分別し、サンプリング残渣と同様にポリエチレン製の密封袋に入れる。

9環境配慮改修工事(続き)

8路床

路床土・A種 ※B種・C種・D種
・D種・建設汚泥から再生した処理土 G

路床の構成及び仕上り※図示

試験

路床土の支持力比 (CBR) 試験・行う・行わない

路床締固め度の試験・行う・行わない

現場CBR試験・行う・行わない

9路盤

路盤の構成及び厚さ・図示・

路盤材料の種類

・碎石	・クラッシャラン ・粒度調整碎石
・再生材	※クラッシャラン ・粒度調整碎石
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G	
・粒度調整鉄鋼スラグ G	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G	

路盤締固め度の試験※行う・行わない

10スファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ※図示・

材料

アスファルト※再生アスファルト G (・60～80・80～100)

骨材

※アスファルトコンクリート再生骨材 G

加熱アスファルト混合物等の種類

※密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)

シールコートの乳剤の種類

・PK-1・PK-2

試験

アスファルト混合物等の抽出試験・行う・行わない

舗装の平たん性※通行の支障となる水たまりを生じない程度

1打継止水材

適用箇所※外部耐震壁打継部・()

材質水膨張性一液弾性シーリング 寸法10×10

1適用範囲

この特記仕様書は、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」第8章耐震改修工事において適用する。耐震改修工事以外については、建築工事特記仕様書を適用とし、別途記載を行う。

工事内容

・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事 (・既存架構内設置型・完全外付け型)
・柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)
・柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き工法)
・柱・梁補強工事 (連続繊維補強工法)
・耐震スリット新設工事
・アウトフレーム新設工事 (・PCaアウトフレーム・現場打ちアウトフレーム)
・免震改修工事
・制震改修工事・

10耐震改修工事

1鉄筋

鉄筋の種類 [8.2.1] [表8.2.1]

種類の記号	呼び名	備考
・SD295A		
・SD345		
・		
・		

形状等 [8.2.2]

種類	種類の記号	網目の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

鉄筋の継手 [8.3.4] [8.4.2、3]

部位	継手方法	呼び名
柱・梁の主筋	・ガス圧接・機械式継手・溶接継手・重ね継手	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手・	
その他の鉄筋 ()	・重ね継手・	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ [8.3.4]

・図示による(改修標準仕様書 表8.3.2)
・耐力壁の場合、フックのありなしにかかわらず、40d(軽量コンクリートの場合は50d)以上と図示(改修標準仕様書 表8.3.2)の重ね継手長さのうち大きい径とする。
・図示による ()

継手位置図

・図示による(改修標準仕様書 表8.3.3)・図示による ()

既存鉄筋との継手

・溶接継手 (※フレア溶接・図示による ())
部位 ()
呼び名 ()
継手位置・図示による ()
・重ね継手
部位 ()
呼び名 ()
継手位置・図示による ()

4鉄筋の定着長さ [8.3.4]

鉄筋の定着長さ

・図示による(改修標準仕様書 表8.3.4)
・図示による ()

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) [8.3.5]

・図示による(改修標準仕様書 表8.3.6)
・図示による ()

柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無

・無し
・有り 適用箇所 ()
主筋のかぶり厚さ
※鉄筋径の1.5倍以上

耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)

・無し
・有り 適用箇所 ()
・図示(改修標準仕様書 表8.3.6)に加える厚さ ()mm

鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) [8.3.5] [図8.3.5]

・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)4.1)
・図示による ()
・

6機械式継手

使用箇所

・図示による ()
性能 (H12建告第1463号に適合するもの) [8.4.2]
・A級・

機械式継手の種類及び工法 () [8.4.2]

鉄筋相互のあき [8.3.5]

・図示による(改修標準仕様書 図8.3.5)・ ()

品質の確認方法 [8.4.2]

・図示による ()
・

不良となった継手の修正方法等 [8.4.2]

・図示による ()
・

7溶接継手

使用箇所

・図示による ()
性能 (H12建告第1463号に適合するもの) [8.4.3]
・A級・

溶接継手の工法 () [8.4.3]

鉄筋相互のあき [8.3.5]

・図示による(改修標準仕様書 図8.3.5)・ ()

品質の確認方法 [8.4.3]

・図示による ()
・

不良となった継手の修正方法等 [8.4.3]

・図示による ()
・

8圧接完了後の試験

超音波探傷試験 [8.3.8] (5.4.9) (5.4.10)
※行う
箇所数・全圧接部
・標準仕様書 5.4.10による抜取試験

9帯筋

組立の形の種別 [8.4.3]

・図示による(各部配筋参考図1.1・H形・ () 形
・図示による ()

10-6

耐震改修工事

連続繊維補強工事

1適用範囲

連続繊維補強工法

・連続シートを柱に巻き付けて補強する方法

・連続シートを梁に巻き付けて補強する方法

[8.24.1]

2連続繊維シート

連続繊維の材料

・炭素繊維

・アラミド繊維

・

[8.2.13]

連続繊維の材質

引張強度（含浸硬化後）

・（）N/mm2

・

ヤング係数（含浸硬化後）

・（）N/mm2

・

[8.24.6]

下地処理

・ひび割れ部改修

・行う

範囲

・図示による（）

・

種類

・改修標準仕様書 8.24.6(1)(4)による

・

[8.24.6]

・柱の隅角部の面取り

大きさ

・図示による（）

・

[8.24.6]

連続繊維補強材の引張強度試験

・行う

引張強度試験

※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張り試験方法）による

・

試験数量

・図示による（）

・

[8.24.6]

連続繊維補強材の付着強度試験

・行う

試験数量

・図示による（）

・

[8.24.8]

3連続繊維補強後の仕上げ

・図示による（）

・

[8.24.8]

10-7

耐震改修工事

耐震スリット新設工事

1スリットの方式及び充填材

[8.25.2]

方 向	タイプ	耐火性能	防水性能	備 考
・垂直方向	※完全	・耐火型	・有り	
・水平方向	（全貫通型）	・非耐火型	・無し	

目 地	内 壁	外 壁
目地材	・シーリング材 （見え掛りのみ） ・	・シーリング材 （見え掛りのみ） ・シーリング材（内外とも）
目地寸法 （幅mm×深さmm）	・20×10	・20×10

目地材の材質は標準仕様書 表9.7.1による

2スリットの施工

既存撤去部の配管等の探査

[8.25.2]

・鉄筋探査機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

・はつりだしによる

・

[8.25.2]

スリットの幅及び深さ

・図示による（）

・

10-8

地業工事

1支持地盤

・杭基礎

(4.3.4、5) (4.4.4) (4.5.5、6)

支持地盤の種類及び位置（基礎ぐいの先端の位置含む）

・図示による（）

・

(4.5.4、5)

・直接基礎

支持地盤の種類及び位置（基礎底部の位置含む）

・図示による（）

・

長期設計支持力度

・（）kN/m2

・

試験堀（根切り底）による支持地盤の確認

・行う

位置等は図示による（）

・行わない

(4.2.4)

地盤の載荷試験

・行う

試験の位置、方法等は図示による（）

・行わない

(4.3.3)

種類

・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）

・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）

SC杭の鋼管材料

・SKK400

・SKK490

・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）

・

試験堀

・行う

孔径はオーガー径とする

位置及び長さは図示による（）

試験堀の施工は試験杭の施工に先立ち行う

・行わない

10-8

地業工事（続き）

4場所打ちコンクリート杭地業

杭径、長さ、仕様等

・図示による（）

・

材料その他

(4.5.4) (6.3.1)

帯筋

・図示による（）

鉄筋の最小かぶり厚さ

・図示による（）

セメントの種類

※高炉セメントB種 

・

(4.5.4) (表4.5.1)

コンクリートの種別

・A種

・B種

・認定等の内容による

コンクリートの設計基準強度（）N/mm2

(4.5.3～6)

構造体強度補正值（S）

(4.5.4)

・3N/mm2

・認定等の内容による

(4.5.1) (4.5.4、5)

掘削工法

・アースドリル工法

安定液

・使用する

・使用しない

・リバース工法

・オールケーシング工法

孔内の水張り

・行う

・行わない

併用する工法

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

図示による（）

鋼管巻き材料

・SKK400

・SKK490

・

・拡底杭工法

図示による（）

安定液

・使用する

・使用しない

・

(4.2.2) (4.5.4、6)

試験杭

試験杭の施工

※本杭の施工に先立ち行う

・

試験杭の位置、本数

※最初の一本

・図示による（）

(4.5.4、6)

孔壁測定

・行う

測定方法、測定箇所は図示による（）

・行わない

杭の精度

水平方向の位置ずれ

・100mm以下

・

杭の傾斜

・1/100以内

・

工法

・浅層混合処理工法

（セメント系固化材を用いた工法による改良）

適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による（）

長期設計支持力

・（）kN/m2

・

・深層混合処理工法

適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による（）

長期設計支持力

・（）kN/m2

・

10-8

地業工事

6置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）

形状、支持地盤、仕様

・図示による（）

・

長期設計支持力

・（）kN/m2

・

セメントの種類

※高炉セメントB種 

・

コンクリートの設計基準強度（）N/mm2

構造体強度補正值（S）＝（）N/mm2

工法

・（）

仕様、範囲、計測、試験等

・図示による（）

材料

※再生クラッシュラン 

・切込砂利及び切込砕石

厚さ及び使用範囲

(4.6.3)

厚 さ	使 用 範 囲
※60	基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
・	・

9捨コンクリート地業

コンクリートの仕様

(4.6.4) (6.14.1～3)

※無筋コンクリートによる

・

セメントの種類

(6.3.1)

※高炉セメントB種 

・

厚さ及び使用範囲

(4.6.4)

厚 さ	使 用 範 囲
※50	基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下
・	・

10床下防湿層

施工範囲

・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ビット下を除く）

・

(4.6.2、5)

材料

・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上

・

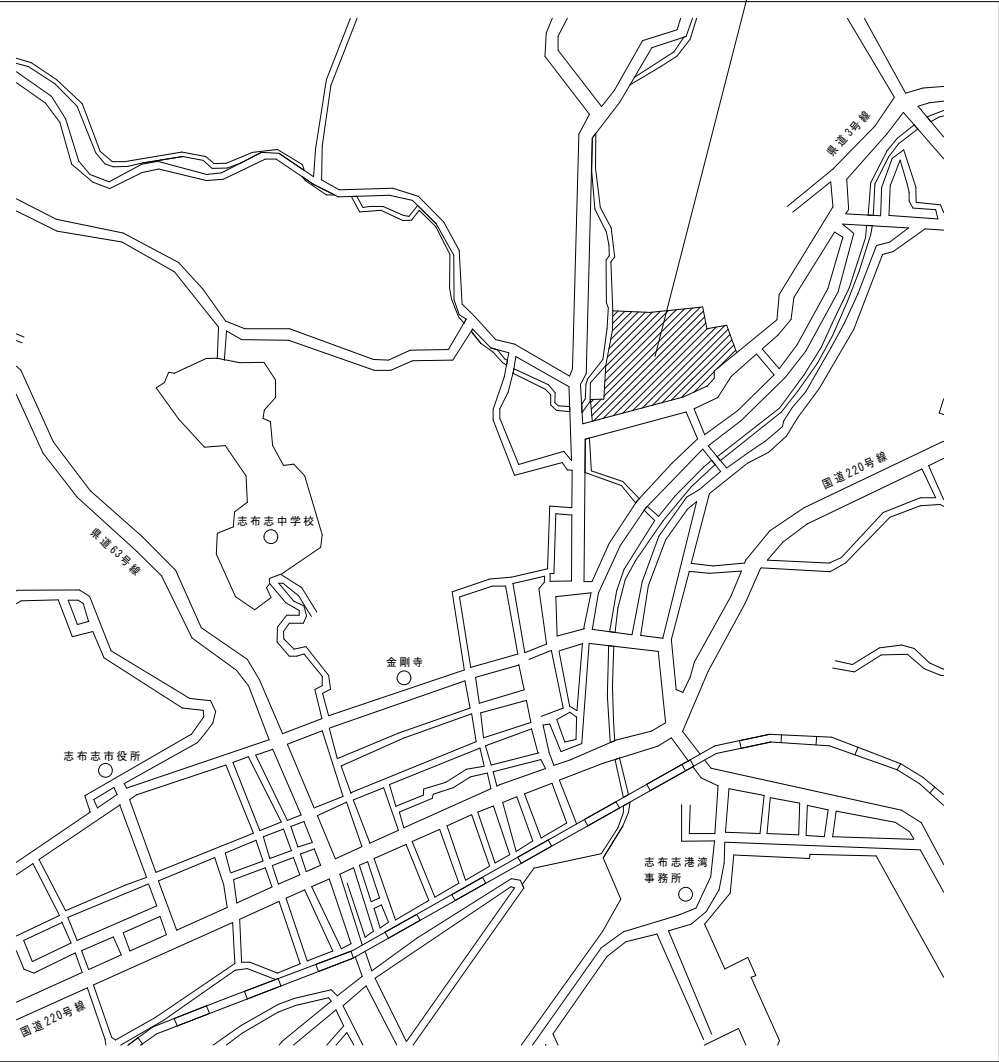
防湿層の位置

・図示による（）

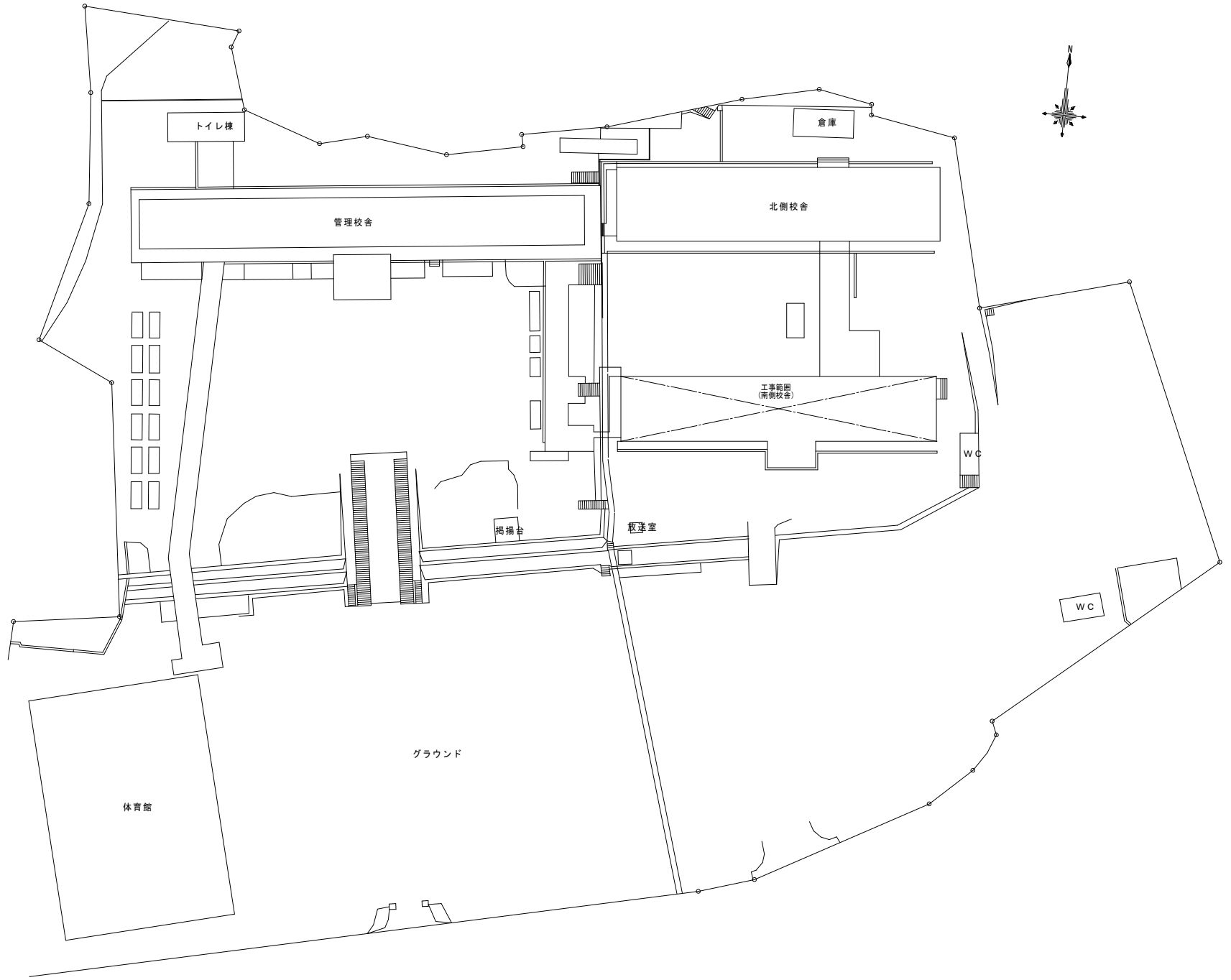
・



工事場所
志布志小学校
鹿児島県志布志市志布志町帖6390-3



付近見取図 NO SCALE



配置図・仮設計画図 S=1/400

設計概要

工事名	志布志小学校校舎増改築工事	床面積	1階	468.8	2階	440.6	3階	440.6	便所	45.0
工事場所	青森県志布志町 市道6398	敷地面積	14,453.0							
構 造	RC造3階建 1部(廊下)RC造2階建 1部(コンテナホーム)RC造平家建	延床面積	1,359.4							
		建築面積	658.21							

外 部 仕 上 装

犬走り	壁	外 階 段	庇	屋 根	欄	備 考
犬走り：モルタル仕上げ	教室棟：滑り止め付 コンクリート	踏面タイル 防氷モルタル仕上げ /インスリッド断熱タイル	玄関庇：モルタル貼付ウールコート付	教室棟：金属：ステンレス・アルミハウス	硬質塩化ビニルパイプ 外径114φ VP付	アルミ製遮光 強度24.0N/cm ² 気密性 0.5%/m ²
側溝：モルタル仕上げ	巾手：モルタル仕上げ 高1×400mm通板切 塩化ビニル板切	ササユキ 防氷モルタル仕上げ 目地切 塩化ビニル板切	窓枠：防氷モルタル	コンクリートタンデム仕上げ 6φ×150mmワイヤ /ノック入	金物類：鉄管バンド ①1200 ②P付	水密性 35N/cm ² 耐火 70
排水 H=150 勾配1/200	外壁：モルタル貼付アクリルシロ付	腰壁：モルタル貼付ウールコート付	天井 ⑤右線投目2層目ウールコート付	④20 塩化ビニル樹脂系シート 防水ルーバ付	ルーフレイン 鋼製縦型ガルバリウム鋼板 100φ	ガラス ④4.27-2.71 ⑤2.1-1.1
1部 プレキャスト 11B T-6 カネソー 製造番号 13538	柱間：モルタル貼付ウールコート付 ⑦付 断面 ⑧中-30	縁タテ：全 上	教室棟	滑り止め	シート防水 VP用	ガラス押え アイコールドキング
全 上 HSB T-2 カネソー 製造番号 13025	金網裏防虫メッシュ(数箇所)	窓枠：防氷モルタル PCフェンス H=500 着脱自在	庇 ⑥丁組タイル 1部 9ヶ所	コンクリートタンデム仕上げ 6φ×150mmワイヤ /ノック入	コーナードレ 鋼製縦型ガルバリウム鋼板 100φ	サッシ周囲 全 上
1部 コンクリート製 2F	外部 ⑨丁組タイル貼	壁紙：モルタル貼付ウールコート付	窓枠：防氷モルタル	④20 塩化ビニル樹脂系シート 防水ルーバ付	壁面遮光シート 鋼製縦型ガルバリウム鋼板 100φ	手洗い場、本番場 ステンチ製、ステンチ製 ⑩3.1-1.1
排水材：モルタル仕上げ	内部 壁 防氷モルタル仕上げ	廊下：モルタル貼付ウールコート付	庇 ⑦モルタル貼付 1部コンクリート打設 アクリルシロ付	外階段		ガラス ステンチ製
排水経路 6A-450φ×15	巾手 防氷モルタル仕上げ	出入口	出入口	モルタル 防氷		高圧水噴射処理、除菌剤塗布
等価口タテ	全 上		庇付 防氷モルタル			
床：100φ 磁器タイル インスリッド断熱タイル 断面 ⑪横 ⑫縦	1部タテ コンクリート打設 アクリルシロ付		庇付 防氷モルタル			
滑り止め	軟質塩化ビニルパイプ (滑り止め)		庇付 コンクリート打設 アクリルシロ付			
床 ⑬モルタル仕上げ 目地切 ⑭右線投目2層目ウールコート付	⑮モルタル貼付ウールコート付		滑り止め			
出入口階段	巾手：防氷モルタル		庇付 モルタル貼付ウールコート付			
床：モルタル仕上げ インスリッド断熱タイル	窓枠：防氷モルタル		窓枠 防氷モルタル			
ロフトフロア ステンチ製 600×1500 ステンチ付	1部タテ コンクリート打設 アクリルシロ付		庇付 コンクリート打設 アクリルシロ付			
排水口面付 周辺防水処理	PCフェンス H=500		コンテナホーム			
	滑り止め ⑯踏面タイル 踏面目 9ヶ所インスリッド断熱タイル インスリッド断熱タイル 断面 ⑪横 ⑫縦 ⑬モルタル仕上げ 目地切 ⑭右線投目2層目ウールコート付 ⑮モルタル貼付ウールコート付		庇付 モルタル貼付ウールコート付			
	床 ⑯モルタル仕上げ 目地切 ⑰右線投目2層目ウールコート付		庇付 防氷モルタル			
	腰壁：モルタル貼付ウールコート付 窓枠：防氷モルタル		庇付 コンクリート打設 1部モルタル貼付アクリルシロ付			
	天井 ⑱コンクリート打設アクリルシロ付 ⑲右コンクリート打設アクリルシロ付					

内 部 仕 上 装

階	室名	床	巾木			腰			壁			天井			備 考
		仕上	仕上	H	塗装	仕上	H	塗装	仕上	H	塗装	仕上	H	塗装	
1階	昇降口	100φ 磁器タイル	モルタル仕上げ	90	VP	モルタル仕上げ		AEP	モルタル仕上げ		AEP	⑳PB付タイル ①部モルタル貼付(滑り止め)付 ウールコート付	2,750 2,780	①立(ステンチ製)750×500(15ヶ所)②部(木製)③部(木製)④部(木製)⑤部(木製)⑥部(木製)⑦部(木製)⑧部(木製)⑨部(木製)⑩部(木製)⑪部(木製)⑫部(木製)⑬部(木製)⑭部(木製)⑮部(木製)⑯部(木製)⑰部(木製)⑱部(木製)⑲部(木製)⑳部(木製)㉑部(木製)㉒部(木製)㉓部(木製)㉔部(木製)㉕部(木製)㉖部(木製)㉗部(木製)㉘部(木製)㉙部(木製)㉚部(木製)㉛部(木製)㉜部(木製)㉝部(木製)㉞部(木製)㉟部(木製)㊱部(木製)㊲部(木製)㊳部(木製)㊴部(木製)㊵部(木製)㊶部(木製)㊷部(木製)㊸部(木製)㊹部(木製)㊺部(木製)㊻部(木製)㊼部(木製)㊽部(木製)㊾部(木製)㊿部(木製)	
	コンテナホーム	モルタル仕上げ 目地切	モルタル仕上げ	90	VP	モルタル仕上げ		AEP	モルタル仕上げ		AEP	①右線投目2層目 ウールコート付	2,400		
	倉庫	モルタル仕上げ 目地切	モルタル仕上げ	90		モルタル仕上げ			モルタル仕上げ			①モルタル貼付			
共通	教室	モルタル貼付タイル(木目)	モルタル仕上げ	90	VP	モルタル仕上げ		AEP	モルタル仕上げ		AEP	①PB付 + ウールコート付	3,000	①部(木製)②部(木製)③部(木製)④部(木製)⑤部(木製)⑥部(木製)⑦部(木製)⑧部(木製)⑨部(木製)⑩部(木製)⑪部(木製)⑫部(木製)⑬部(木製)⑭部(木製)⑮部(木製)⑯部(木製)⑰部(木製)⑱部(木製)⑲部(木製)⑳部(木製)㉑部(木製)㉒部(木製)㉓部(木製)㉔部(木製)㉕部(木製)㉖部(木製)㉗部(木製)㉘部(木製)㉙部(木製)㉚部(木製)㉛部(木製)㉜部(木製)㉝部(木製)㉞部(木製)㉟部(木製)㊱部(木製)㊲部(木製)㊳部(木製)㊴部(木製)㊵部(木製)㊶部(木製)㊷部(木製)㊸部(木製)㊹部(木製)㊺部(木製)㊻部(木製)㊼部(木製)㊽部(木製)㊾部(木製)㊿部(木製)	
	資料室	モルタル貼付タイル(木目)	モルタル仕上げ	90	VP	モルタル仕上げ		AEP	モルタル仕上げ		AEP	①PB付 + ウールコート付	3,000	①部(木製)②部(木製)③部(木製)④部(木製)⑤部(木製)⑥部(木製)⑦部(木製)⑧部(木製)⑨部(木製)⑩部(木製)⑪部(木製)⑫部(木製)⑬部(木製)⑭部(木製)⑮部(木製)⑯部(木製)⑰部(木製)⑱部(木製)⑲部(木製)⑳部(木製)㉑部(木製)㉒部(木製)㉓部(木製)㉔部(木製)㉕部(木製)㉖部(木製)㉗部(木製)㉘部(木製)㉙部(木製)㉚部(木製)㉛部(木製)㉜部(木製)㉝部(木製)㉞部(木製)㉟部(木製)㊱部(木製)㊲部(木製)㊳部(木製)㊴部(木製)㊵部(木製)㊶部(木製)㊷部(木製)㊸部(木製)㊹部(木製)㊺部(木製)㊻部(木製)㊼部(木製)㊽部(木製)㊾部(木製)㊿部(木製)	
	便所	25φモリタイル	100φ半磁器タイル(有蓋)			100φ半磁器タイル(有蓋)			100φ半磁器タイル(有蓋)			①右線投目2層目	2,750 AEP	①部(木製)②部(木製)③部(木製)④部(木製)⑤部(木製)⑥部(木製)⑦部(木製)⑧部(木製)⑨部(木製)⑩部(木製)⑪部(木製)⑫部(木製)⑬部(木製)⑭部(木製)⑮部(木製)⑯部(木製)⑰部(木製)⑱部(木製)⑲部(木製)⑳部(木製)㉑部(木製)㉒部(木製)㉓部(木製)㉔部(木製)㉕部(木製)㉖部(木製)㉗部(木製)㉘部(木製)㉙部(木製)㉚部(木製)㉛部(木製)㉜部(木製)㉝部(木製)㉞部(木製)㉟部(木製)㊱部(木製)㊲部(木製)㊳部(木製)㊴部(木製)㊵部(木製)㊶部(木製)㊷部(木製)㊸部(木製)㊹部(木製)㊺部(木製)㊻部(木製)㊼部(木製)㊽部(木製)㊾部(木製)㊿部(木製)	
	廊下	1階①部タイル ②部タイル ③部タイル ④部タイル ⑤部タイル ⑥部タイル ⑦部タイル ⑧部タイル ⑨部タイル ⑩部タイル ⑪部タイル ⑫部タイル ⑬部タイル ⑭部タイル ⑮部タイル ⑯部タイル ⑰部タイル ⑱部タイル ⑲部タイル ⑳部タイル ㉑部タイル ㉒部タイル ㉓部タイル ㉔部タイル ㉕部タイル ㉖部タイル ㉗部タイル ㉘部タイル ㉙部タイル ㉚部タイル ㉛部タイル ㉜部タイル ㉝部タイル ㉞部タイル ㉟部タイル ㊱部タイル ㊲部タイル ㊳部タイル ㊴部タイル ㊵部タイル ㊶部タイル ㊷部タイル ㊸部タイル ㊹部タイル ㊺部タイル ㊻部タイル ㊼部タイル ㊽部タイル ㊾部タイル ㊿部タイル	モルタル仕上げ	90	VP	モルタル仕上げ		AEP	モルタル仕上げ		AEP	①PB付 + ウールコート付	2,700	①部(木製)②部(木製)③部(木製)④部(木製)⑤部(木製)⑥部(木製)⑦部(木製)⑧部(木製)⑨部(木製)⑩部(木製)⑪部(木製)⑫部(木製)⑬部(木製)⑭部(木製)⑮部(木製)⑯部(木製)⑰部(木製)⑱部(木製)⑲部(木製)⑳部(木製)㉑部(木製)㉒部(木製)㉓部(木製)㉔部(木製)㉕部(木製)㉖部(木製)㉗部(木製)㉘部(木製)㉙部(木製)㉚部(木製)㉛部(木製)㉜部(木製)㉝部(木製)㉞部(木製)㉟部(木製)㊱部(木製)㊲部(木製)㊳部(木製)㊴部(木製)㊵部(木製)㊶部(木製)㊷部(木製)㊸部(木製)㊹部(木製)㊺部(木製)㊻部(木製)㊼部(木製)㊽部(木製)㊾部(木製)㊿部(木製)	
	階段	踏面タイル ①部タイル ②部タイル ③部タイル ④部タイル ⑤部タイル ⑥部タイル ⑦部タイル ⑧部タイル ⑨部タイル ⑩部タイル ⑪部タイル ⑫部タイル ⑬部タイル ⑭部タイル ⑮部タイル ⑯部タイル ⑰部タイル ⑱部タイル ⑲部タイル ⑳部タイル ㉑部タイル ㉒部タイル ㉓部タイル ㉔部タイル ㉕部タイル ㉖部タイル ㉗部タイル ㉘部タイル ㉙部タイル ㉚部タイル ㉛部タイル ㉜部タイル ㉝部タイル ㉞部タイル ㉟部タイル ㊱部タイル ㊲部タイル ㊳部タイル ㊴部タイル ㊵部タイル ㊶部タイル ㊷部タイル ㊸部タイル ㊹部タイル ㊺部タイル ㊻部タイル ㊼部タイル ㊽部タイル ㊾部タイル ㊿部タイル	モルタル仕上げ	90	VP	モルタル仕上げ		AEP	モルタル仕上げ		AEP	①PB付 + ウールコート付	1,900	①部(木製)②部(木製)③部(木製)④部(木製)⑤部(木製)⑥部(木製)⑦部(木製)⑧部(木製)⑨部(木製)⑩部(木製)⑪部(木製)⑫部(木製)⑬部(木製)⑭部(木製)⑮部(木製)⑯部(木製)⑰部(木製)⑱部(木製)⑲部(木製)⑳部(木製)㉑部(木製)㉒部(木製)㉓部(木製)㉔部(木製)㉕部(木製)㉖部(木製)㉗部(木製)㉘部(木製)㉙部(木製)㉚部(木製)㉛部(木製)㉜部(木製)㉝部(木製)㉞部(木製)㉟部(木製)㊱部(木製)㊲部(木製)㊳部(木製)㊴部(木製)㊵部(木製)㊶部(木製)㊷部(木製)㊸部(木製)㊹部(木製)㊺部(木製)㊻部(木製)㊼部(木製)㊽部(木製)㊾部(木製)㊿部(木製)	

■ 設計概要

建築主（住所・氏名）	鹿児島県志布志市志布志町帖6390-3 志布志市長 下平 晴行	建築場所	地名地番	鹿児島県志布志市志布志町帖6390-3		
建築物用途	校舎（小学校）		住居表示			
工事種別	改修工事	工期（着工～竣工）				
都市計画区域の内外別	都市計画区域 ⑨ 外	市街化調整区域 内 ⑨	敷地面積			
用途地域	指定なし	延べ面積	1,627.44㎡			
防火地域	指定なし	建築率制限	%	容積率制限	%	
その他の地域・地区		高度地区		日影規制		
都市計画施設		関連法規				
道路状況		構造・規模	鉄筋コンクリート造・3階建			
敷地状況	敷地現況図による					

■ 改修工事概要

1. 外壁改修工事	3. 内部改修工事	
外壁欠損部・浮き部分・ひび割れ部分改修・高圧洗浄(15MPa)デッキブラシ等を用いる)の上防水形複層塗材E C-1共	(1) 床: 既存 セプターモザイクパーケット貼り t=8 撤去 床: 杉上小60%圧密厚フローリング・クッション材2: t=15・直張	(9) テレビハンガー及びスクリーン撤去(スラブ下より)
2. 屋根改修工事	(2) 壁: 既存下地処理の上 塗装 柱・梁型: 既存下地処理の上 塗装	(10) カーテン・カーテンレール付替(撤去・新規)
ウレタン防水X-1工法(平場・立上り) 遮熱トップコート 既存: 塩ビシート防水撤去・高圧洗浄	(3) ガラス: 強化ガラスへ取替・鋼製建具・木製建具共(普通ガラス部)	(11) 内部階段: 床塩ビシート撤去張替・ノンスリップー体型とする 既存ノンスリップは撤去処分
	(4) 天井: 既存石膏ボード撤去(LGS下地共) 新規ケイカル板 t=5 目スカン張 SOP塗装 (新規LGS下地) 天井: 既存石膏ボード 下地処理の上 EPG塗装(廊下・トイレ以外) (廊下のみ)	(12) 新規天井点検口 450角 教室24カ所・廊下12カ所・トイレ3カ所 取付位置は打合せによる
	(5) 木建具: 改修・調整	(13) 下足箱: 天板・棚板・側面 ポリ合板 補修・SOP塗装
揮発性有機化合物室内濃度測定(工事完了後の1回とする) 工事着工前は施工者の判断とする。	(6) 鋼製建具: 改修・調整 クレセント・戸車・カギすべて新規取替 外部建具 新規網戸取付	
ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロベンゼン	(7) 家具: 見えがかり部は再塗装 生徒用ロッカー: 既存撤去・新規作成 掃除具入: 既存撤去・新規制作 教師用ロッカー: 天板補修	
	(8) 黒板: 既存のままとする 掲示板: 教室後面は既存撤去新規作成。 教室前面: 掲示板シート張替	

■ 外部仕上表

巾 木	現 況	モルタル金ゴテ	側 溝	現 況	モルタル金ゴテ	雨 樋	現 況	塩ビ100Φ・VP塗装	コンテナ室屋根 玄関屋根	現 況	シート防水
	改修後	高圧洗浄		改修後	高圧洗浄		改修後	カラー塩ビへ取替(ステン金物も新規取替)		改修後	既存撤去・ウレタン防水×－１工法(平場・立上り)
外 壁	現 況	モルタル刷毛引きの上アクリルリシン吹付	庇 天 端	現 況	防水モルタル金コテ	ルーフドレイン	現 況	錆鉄製 コールタール焼付 100φ	外部階段 渡り廊下	現 況	既存フェンスネット 撤去
	改修後	ひび割れ、浮き欠損補修後 高圧洗浄の上フィラー(0-1)処理後 防水形複層塗材E塗装		改修後	高圧洗浄の上、EP-G		改修後	黒ワニス塗り		改修後	新規フェンスネット 取替
屋 根	現 況	シート防水	庇 上 げ 裏	現 況	コンクリート打放 リシン吹付	外 部 建 具	現 況	アルミサッシ	渡り廊下	現 況	既存押え金物 撤去
	改修後	高圧洗浄後 シート防水 t=1.2		改修後	ひび割れ、浮き欠損補修後 高圧洗浄の上フィラー(0-1)処理後、 アクリルリシン吹付		改修後	外周部アルミサッシは戸車・クレセント取替・調整・新規網戸取付 普通ガラス部は撤去の上 強化ガラスへ取替・建具調整		改修後	新規押え金物 取付
犬 走 り	現 況	モルタル金ゴテ	庇 鼻	現 況	モルタル金コテ リシン吹付	建 具 廻 り コーキング	現 況	油性コーキング充填		図面に記載のない損傷個所がある場合は 監督員と協議の上、本工事で改修を行う事とする(内外部共)。	
	改修後	高圧洗浄		改修後	高圧洗浄の上、EP-G		改修後	既存撤去の上、シーリング充填(MS-2)			

■ 内部仕上表

[illegible]

凡 例

番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称	該当	名称 (符号)	品質・規格・寸法など	不燃認定番号	規格等
SOP	合成樹脂樹脂合ベント	RC直(金)	コンクリート直挿え (金ゴテ)	V	ビニルシート巾木		石綿スレート	フレキシブル板、平板、波板、軟質板、パーライト板 厚さ3mm以上	NM-8576	規制対象外
LE	ラック-エナメル	RC直(木)	コンクリート直挿え (木ゴテ)	W	木製巾木		化粧石膏ボード		NM-8577	規制対象外
VE	フタル酸樹脂エナメル	RC型	コンクリート型枠外しのまま	VS	ビニルシート立上げ巾木		化粧石膏ボード		NM-8579	規制対象外
F	塩化ビニル樹脂エナメル	RC素	コンクリート打直し	MO	モルタル塗り		不燃化粧石膏ボード (化粧PB)	厚さ12.5mm (吉野:タイガースード)	NM-8581	規制対象外
EP-1	合成樹脂エマルションペイント (屋外用) 艶有り	RC化	コンクリート化粧仕上げ	AL	アルミ		木目化粧石膏ボード	厚さ9.5mm (吉野:ジブトン・マルブロン)	NM-0296	規制対象外
EP-2	合成樹脂エマルションペイント (屋内用) 艶有り	P C	プレキャストコンクリート	W	ビニル		ホルムアルデヒド吸収分解化粧石膏ボード	厚さ12.5mm (吉野:タイガード・ニュー・S・U・K)	NM-0127	規制対象外
CL	クリヤラック	AC	高圧電線変電室用コンクリート板	V	木製		ホルムアルデヒド吸収分解化粧石膏ボード	厚さ12.5mm (吉野:ハイクリンボードレギュラー)	NM-8119	規制対象外
AP	アクリル樹脂エナメル (常温型)	CB	コンクリートブロック	S T	スチール		強化石膏ボード	厚さ12.5mm (吉野:ハイクリンボード)	NM-0128	規制対象外
A-E	アクリル樹脂エナメル (焼付け)	PS C	プレスレストコンクリート				防火石膏ボード	厚さ12.5mm (吉野:不燃防火ボード)	NM-9639	規制対象外
U-B	ポリウレタン樹脂エナメル (常温型)	VT	ビニルタイル	B.B	ブラインドボックス		繊維混入硬質石膏ボード	厚さ12.5・15・21mm (吉野:タイガード・タイZ)	NM-8615	規制対象外
UEH	ウレタン樹脂エナメル (常温型)	GT	ゴムタイル	B.B	ブラインドボックス		ロックウール吸音板 (岩綿吸音板)	厚さ9・12.5mm (吉野:タイガースーパーハード)	NM-9645	規制対象外
U-E	ウレタン樹脂エナメル (焼付け)	VS	ビニルシート (長尺)	B.B	ブラインドボックス +ブラインド		ロックウール吸音板 (岩綿吸音板)	厚さ9・12mm (ニッポ-ボー・ソーランド)	NM-8599	規制対象外
FU	フッ素樹脂塗料 (常温型)	TC	タイルカーベット	C.8	カーテンボックス		ロックウール保溫板 (岩綿保溫板)		NM-0600	規制対象外
FE	フタル酸エナメル	CP	カーベット	C.8 C	カーテンボックス+カーテンレール+カーテン		岩棉補綴		NM-8601	F☆☆☆☆
FUH	フッ素樹脂塗料 (常温型) 重防食または長期耐候性塗装	MO	モルタル塗り	PR	ピクチャーレール		グラスウール保溫板	??系樹脂処理??50kg/20' 50kg4保溫板	NM-1604	F☆☆☆☆
F-BE	フッ素樹脂塗料 (焼付け)	FA	フリスアクセスフロアー	KG	キックガード		グラスウール化粧保溫板			
AL	アクリルラック	吹付R	吹付岩綿		ケイ酸カルシウム板 (無石棉品)		ケイ酸カルシウム板	6mm・8mm (ニチアス:繊維混入ケイ酸カルシウム板)	NM-8578	規制対象外
OS	オールステイン・アルコール着色着色剤	GW	グラスウール	A防水	アスファルト防水		化粧石綿ケイ酸カルシウム板	厚さ6mm (ニチアス:化粧繊維混入ケイ酸カルシウム板)	NM-8579	規制対象外
RP-1	合成樹脂樹脂状吹付材 (外用途) アクリル系シン収付	J工法	ジョイント工法ボード	C防水	セメント防水		繊維強化ケイ酸ボード	厚さ6mm, 9mm	NM-8640	規制対象外
RP-2 (A)	合成樹脂樹脂状吹付材 (内部用途) アクリル系シン収付	TB	テラゾーブロック	P防水	塗装防水		塗料 EP-1, EP-2, VE, CL	塗料塗装/不燃材料	NM-8585	F☆☆☆☆
RP-2 (B)	合成樹脂樹脂状吹付材 (内部用途)	RB	岩綿吸音板	S防水	合成樹脂シート防水		塗料 SOP, FE	塗料塗装/不燃材料	NM-8585	F☆☆☆☆
RE	合成樹脂エマルションペイント系複層模様吹付材	溝R	溝付岩綿吸音板	H防水	高分分子フーニング防水		複層模様吹付材 RP-2	無機繊維状吹付材/不燃材料	NM-8578	F☆☆☆☆
RS	反応硬化型溶剤系複層模様吹付材	FB	石膏ボード	J防水	樹脂防水		クロス1線 (ケイカル板下地)	紙製壁紙	NM認定品	F☆☆☆☆
F.LP	フロアー防塵塗料	PB	フレキシブル石綿板				フレキシブルクロス1線 (不燃石膏ボード下地)	無機質	NM-9904	F☆☆☆☆
MS	溶剤溶液型塗料	SB	ケイ酸カルシウム板				ビニルクロス1線 (不燃ボード下地)	無機質	NM認定品	F☆☆☆☆
		化粧PB	化粧石膏ボード							

提出書類等

提出書類等

本工事の施工にあたり、下記に定める図書等（番号に○印を付したものを工事監理者に提出して承認を受けるものとする。工事監理者は下記に定めるもののほか、必要な図書等の提出と承認を求めることが出来る。）

時期	番号	提出図書名	提出期限	部数	備考
着工時	①	工事着手届		3部	
	②	工事請負契約書（写）		3部	
	③	工事請負内訳明細書		3部	
	④	工事工程表		3部	
	⑤	現場代理人、主任技術者		3部	経歴、規模、資格を記す
	⑥	現場常駐員		3部	経歴、規模、資格を記す
	⑦	協力業者承諾願		3部	
	⑧	損害保険契約及び保証書写		3部	
	⑨	材料試験成績表		3部	
	⑩	仮設計画書		3部	
	⑪	使用材料機器等承諾願		3部	
	⑫	工程表（月間、週間）		3部	
	⑬	施工計画書		3部	
	⑭	工事記録報告書（月報）		3部	
	⑮	打合せ記録書		3部	
	⑯	官公署出願書類控		3部	
	⑰	工事写真		3部	
	⑱	工事出来高承認願		3部	
	⑲	施工図作成工程表		3部	
	20	施工図及び原寸図、承認図		3部	
	21	見本品、現物及びカタログ		3部	
	22	試験成績書		3部	

時期	番号	提出図書名	提出期限	部数	備考
竣工時	㉓	竣工2折製本図面	引渡し日より30日以内	1部	
	㉔	竣工縮小2折製本図面	〃	3部	
	㉕	施工図2折製本	〃	1部	
	㉖	官庁関係書類	引 渡 し 時	1部	
	㉗	保証書	〃	2部	
	㉘	念 書	〃	1部	
	㉙	各機器承認図	〃	1部	
	㉚	機器等保守管理助言書	〃	1部	
	㉛	錠錠明細書	〃	1部	
	㉜	備品等一覧表	〃	1部	
	㉝	内外装材施工図等助言書	〃	1部	
	㉞	工事写真	〃	1部	全工事の記録
	㉟				

○ 地中打設完了時までに総合図（平面詳細図、天井伏図、展開図）に設備情報を70%したものの及び、基準矩計施工図を提出

○ 竣工図の修正、製本等は工事請負者の責任に於いて行うものとする

注 記

1. 既設配管は参考とし施工前に既設を十分調査して他施設へ干渉が無いように施工する事。

2. 図面に記載の無い物でも機能上当然必要となる物は本工事に含む。

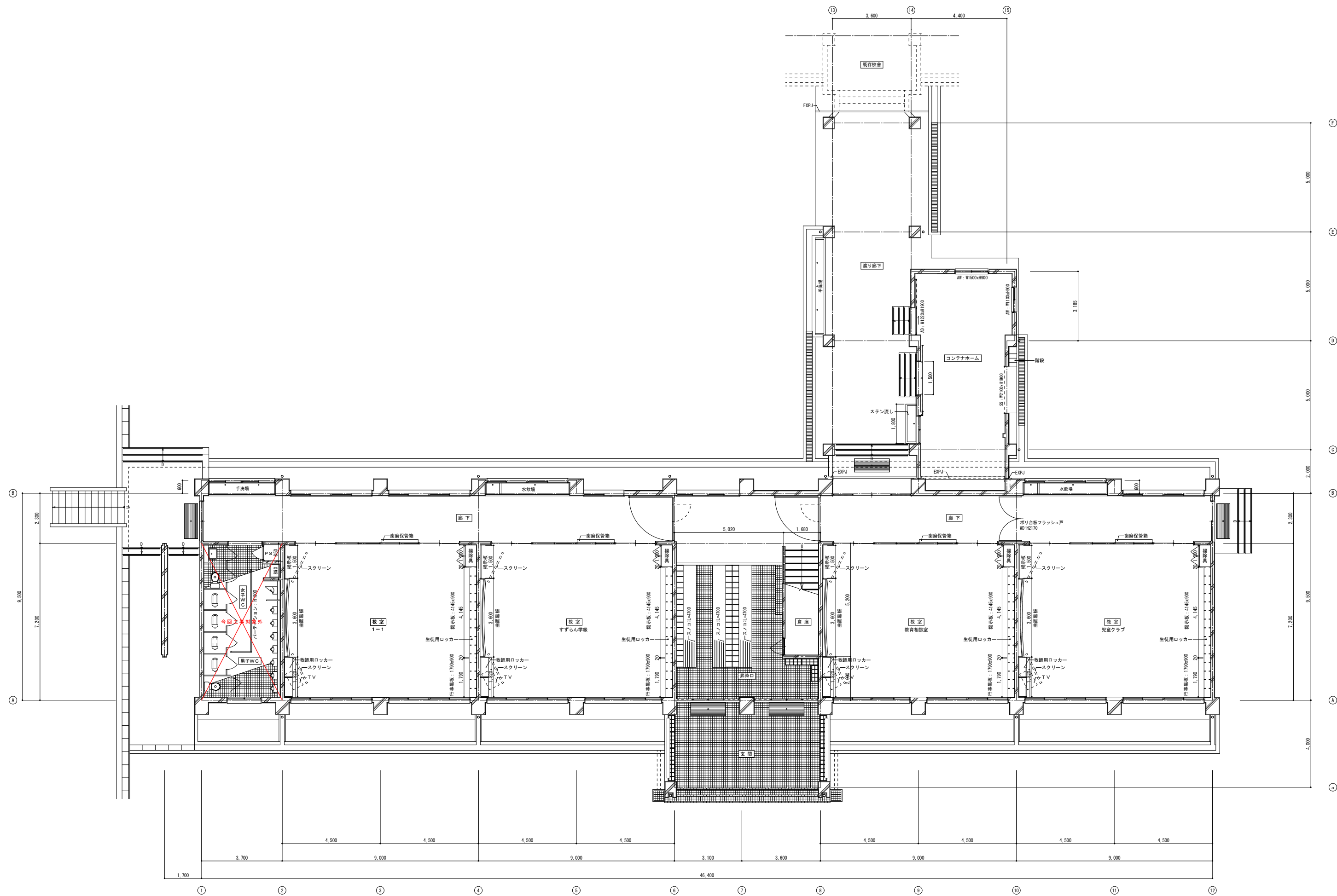
~~○ 本工事に際しては入居者等が支障が無いよう関係者及び監督員と十分行合をせる事。~~

3. 既設配材等で著しく損傷及び汚れ等がある物は監督員と協議し改修する事。
(軽微なものは本工事に含む)

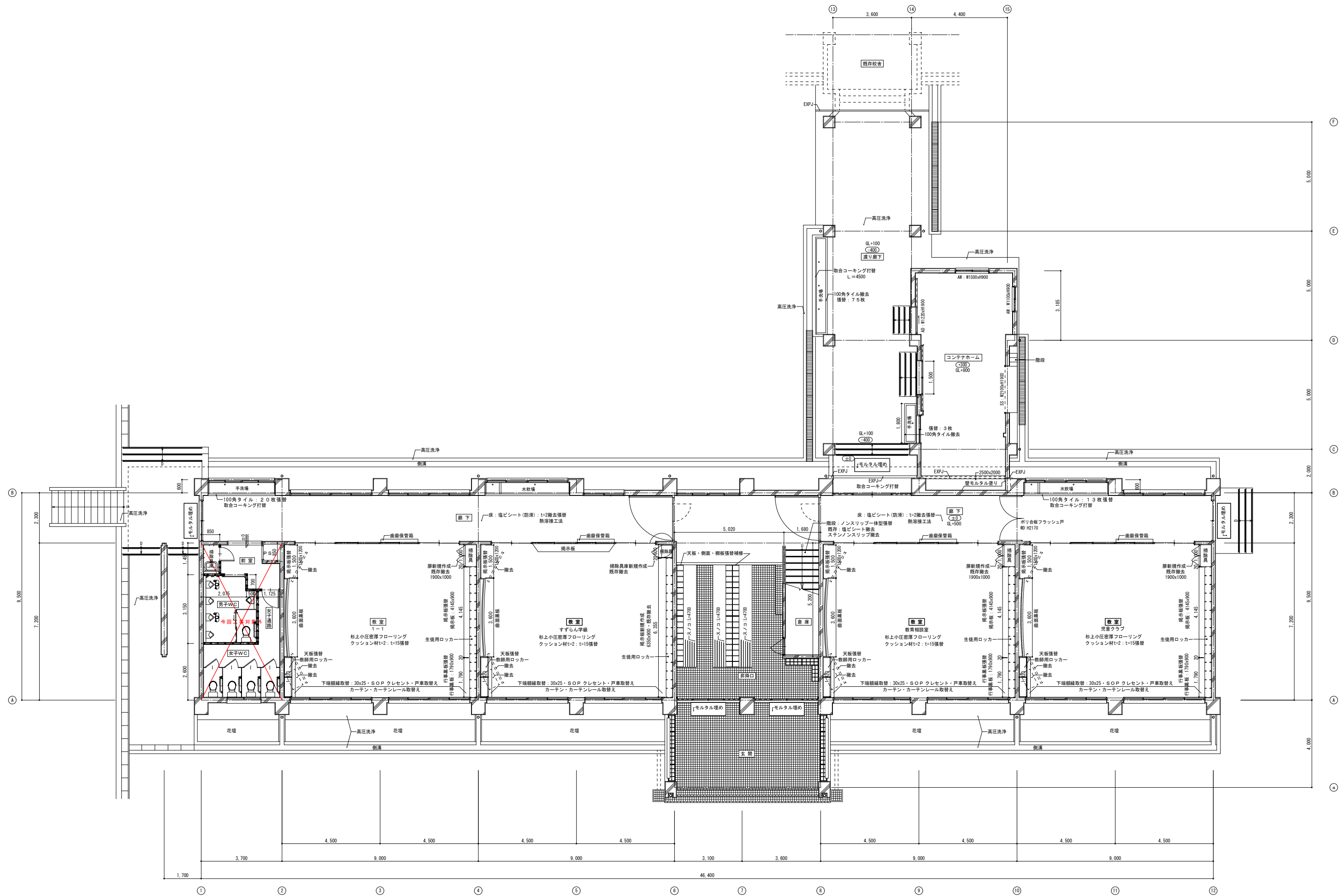
5. 撤去品の取扱いについては関係者及び監督員の指示に従い適正に処理する事。

内部仕上表

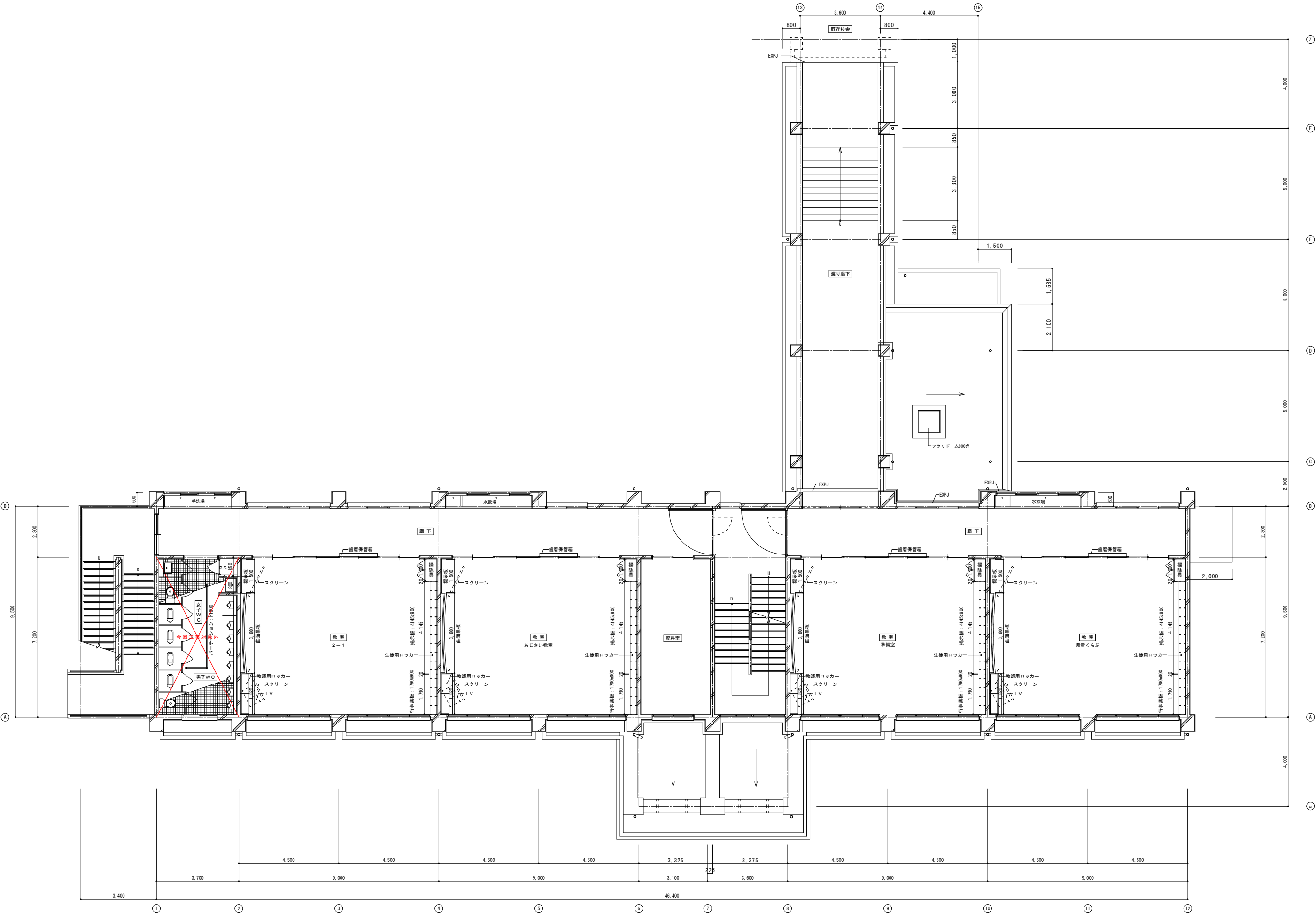
室名			床仕上	巾木仕上	巾木高	腰壁仕上	壁仕上	天井仕上	天井高	備考
2階	教室 2の1	現況	モルタル下地 セブターモザイクパーケット貼り t=8 ダンケル仕上	モルタルコテ押え VP	90	モルタルコテ押え AEP	モルタルコテ押え AEP	P8 t=9下地 目スカシ張 ウォールコートM吹付	3,000	黒板 ・ 掲示板・ 掃除具入 ・ 棚 ・ カーテンボックス
		改修後	既存撤去後 杉上小60%圧密厚フローリング・クッション材2: t=15・直張	EPG塗替	90	EPG塗替	EPG塗替	下地処理の上 EPG塗装	3,000	ステンレス手摺取付 H=1100・下端額縁取替: 30x25・SOP カーテン・カーテンレール取替え 外部建具: 戸車・クレセント取替・調整・新規網戸取付 掃除具入: 新規制作 ・天井点検口450角
	教室 あじさい学級	現況	モルタル下地 セブターモザイクパーケット貼り t=8 ダンケル仕上	モルタルコテ押え VP	90	モルタルコテ押え AEP	モルタルコテ押え AEP	P8 t=9下地 目スカシ張 ウォールコートM吹付	3,000	黒板 ・ 掲示板・ 掃除具入 ・ 棚 ・ カーテンボックス
		改修後	既存撤去後 杉上小60%圧密厚フローリング・クッション材2: t=15・直張	EPG塗替	90	EPG塗替	EPG塗替	下地処理の上 EPG塗装	3,000	ステンレス手摺取付 H=1100・下端額縁取替: 30x25・SOP カーテン・カーテンレール取替え 外部建具: 戸車・クレセント取替・調整・新規網戸取付 掃除具入: 新規制作 ・天井点検口450角
	準備室	現況	モルタル下地 セブターモザイクパーケット貼り t=8 ダンケル仕上	モルタルコテ押え VP	90	モルタルコテ押え AEP	モルタルコテ押え AEP	P8 t=9下地 目スカシ張 ウォールコートM吹付	3,000	黒板 ・ 掲示板・ 掃除具入 ・ 棚 ・ カーテンボックス
		改修後	既存撤去後 杉上小60%圧密厚フローリング・クッション材2: t=15・直張	EPG塗替	90	EPG塗替	EPG塗替	下地処理の上 EPG塗装	3,000	ステンレス手摺取付 H=1100・下端額縁取替: 30x25・SOP カーテン・カーテンレール取替え 外部建具: 戸車・クレセント取替・調整・新規網戸取付 掃除具入: 新規制作 ・天井点検口450角
	児童クラブ	現況	モルタル下地 セブターモザイクパーケット貼り t=8 ダンケル仕上	モルタルコテ押え VP	90	モルタルコテ押え AEP	モルタルコテ押え AEP	P8 t=9下地 目スカシ張 ウォールコートM吹付	3,000	黒板 ・ 掲示板・ 掃除具入 ・ 棚 ・ カーテンボックス
		改修後	既存撤去後 杉上小60%圧密厚フローリング・クッション材2: t=15・直張	EPG塗替	90	EPG塗替	EPG塗替	下地処理の上 EPG塗装	3,000	ステンレス手摺取付 H=1100・下端額縁取替: 30x25・SOP カーテン・カーテンレール取替え 外部建具: 戸車・クレセント取替・調整・新規網戸取付 掃除具入: 新規制作 ・天井点検口450角
3階	教室 6の2	現況	モルタル下地 セブターモザイクパーケット貼り t=8 ダンケル仕上	モルタルコテ押え VP	90	モルタルコテ押え AEP	モルタルコテ押え AEP	P8 t=9下地 目スカシ張 ウォールコートM吹付	3,000	黒板 ・ 掲示板・ 掃除具入 ・ 棚 ・ カーテンボックス
		改修後	既存撤去後 杉上小60%圧密厚フローリング・クッション材2: t=15・直張	EPG塗替	90	EPG塗替	EPG塗替	下地処理の上 EPG塗装	3,000	ステンレス手摺取付 H=1100・下端額縁取替: 30x25・SOP カーテン・カーテンレール取替え 外部建具: 戸車・クレセント取替・調整・新規網戸取付 掃除具入: 新規制作 ・天井点検口450角
	教室 6の1	現況	モルタル下地 セブターモザイクパーケット貼り t=8 ダンケル仕上	モルタルコテ押え VP	90	モルタルコテ押え AEP	モルタルコテ押え AEP	P8 t=9下地 目スカシ張 ウォールコートM吹付	3,000	黒板 ・ 掲示板・ 掃除具入 ・ 棚 ・ カーテンボックス
		改修後	既存撤去後 杉上小60%圧密厚フローリング・クッション材2: t=15・直張	EPG塗替	90	EPG塗替	EPG塗替	下地処理の上 EPG塗装	3,000	ステンレス手摺取付 H=1100・下端額縁取替: 30x25・SOP カーテン・カーテンレール取替え 外部建具: 戸車・クレセント取替・調整・新規網戸取付 掃除具入: 新規制作 ・天井点検口450角
	教育相談室	現況	モルタル下地 セブターモザイクパーケット貼り t=8 ダンケル仕上	モルタルコテ押え VP	90	モルタルコテ押え AEP	モルタルコテ押え AEP	P8 t=9下地 目スカシ張 ウォールコートM吹付	3,000	黒板 ・ 掲示板・ 掃除具入 ・ 棚 ・ カーテンボックス
		改修後	既存撤去後 杉上小60%圧密厚フローリング・クッション材2: t=15・直張	EPG塗替	90	EPG塗替	EPG塗替	下地処理の上 EPG塗装	3,000	ステンレス手摺取付 H=1100・下端額縁取替: 30x25・SOP カーテン・カーテンレール取替え 外部建具: 戸車・クレセント取替・調整・新規網戸取付 掃除具入: 新規制作 ・天井点検口450角
	児童会室	現況	モルタル下地 セブターモザイクパーケット貼り t=8 ダンケル仕上	モルタルコテ押え VP	90	モルタルコテ押え AEP	モルタルコテ押え AEP	P8 t=9下地 目スカシ張 ウォールコートM吹付	3,000	黒板 ・ 掲示板・ 掃除具入 ・ 棚 ・ カーテンボックス
		改修後	既存撤去後 杉上小60%圧密厚フローリング・クッション材2: t=15・直張	EPG塗替	90	EPG塗替	EPG塗替	下地処理の上 EPG塗装	3,000	ステンレス手摺取付 H=1100・下端額縁取替: 30x25・SOP カーテン・カーテンレール取替え 外部建具: 戸車・クレセント取替・調整・新規網戸取付 掃除具入: 新規制作 ・天井点検口450角
共通	廊下	現況	塩ビシート: t=2.0	モルタルコテ押え AEP	90	モルタルコテ押え AEP 一部 100角 磁器タイル	モルタルコテ押え AEP	P8 t=9下地 目スカシ張 ウォールコートM吹付	2,700	手洗い場
		改修後	塩ビシート: t=2.0張替	EPG塗替	90	EPG塗替	EPG塗替	既存石膏ボード撤去(LGS下地共) 新規 ケイカル板 t=5 目スカシ張 SOP塗装(新規LGS下地)	2,700	各階カガミ(450x600) 6ヵ所 一時撤去再取付 ・新規天井点検口 450角 1階4ヵ所・2階4ヵ所・3階4ヵ所
	階段室	現況	塩ビシート: t=2.0 ステンレスノンスリップ	モルタルコテ押え AEP	90	モルタルコテ押え AEP	モルタルコテ押え AEP	P8 t=9下地 目スカシ張 ウォールコートM吹付		ステンレス手すり
		改修後	塩ビシート: t=2.0張替 ノンスリッパー体型とする	EPG塗替	90	EPG塗替	EPG塗替	下地処理の上 EPG塗装		
	男女トイレ洗面所	現況	25角 モザイクタイル	100角タイル		100角タイル		石綿板 t=5 目スカシ張 ウォールコートM吹付	2,700	パーテーション
		改修後	長尺塩ビシート: t=2.0 特殊防滑性・耐水工法・抗菌仕様 モルタル金ゴテ下地 既存床高さを廊下と同レベルとする	既存のまま		メラミン不燃化粧板張・t=3・既存タイルの上 端部はコーキング処理 既存タイル・モルタル補修 メラミン不燃化粧板張・t=3・耐水PB: t=12.5下地 端部はコーキング処理 LGS間仕切: W65・グラスウール: t=50・24kg/m ³ 出隅用アルミジョイナー・3ヶ所		ケイカル板 t=5 EPG塗装 LGS下地(既存はLGS共撤去) LGS下地は天井まで	2,700	トイレブース 面台: 人造大理石・t=20 手摺取付部は下地補強の事 女子トイレ: 吊戸棚・ポリ合板フラッシュ: 980x700xD300 掃除具庫: モップ掛け: ステンレスフック・5ヶ所・木製棚: W300 天井点検口450角



既存 1 階平面図



改修 1階平面図



既存 2階平面図

特記事項	

ONO CONSTRUCTION ENGINEERS OFFICE

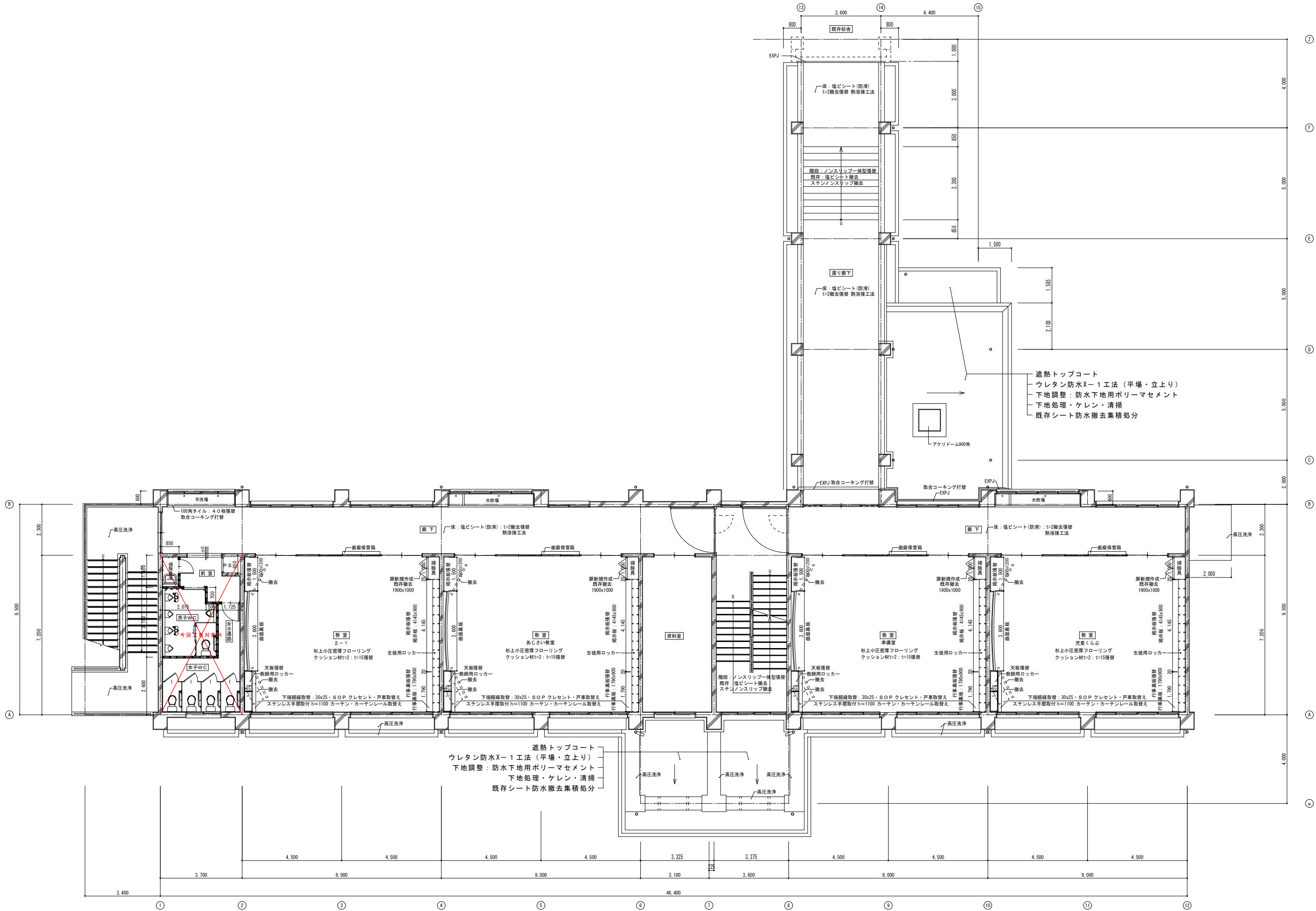
ON.O.CEO

有 限 公 司

小 野 設 計

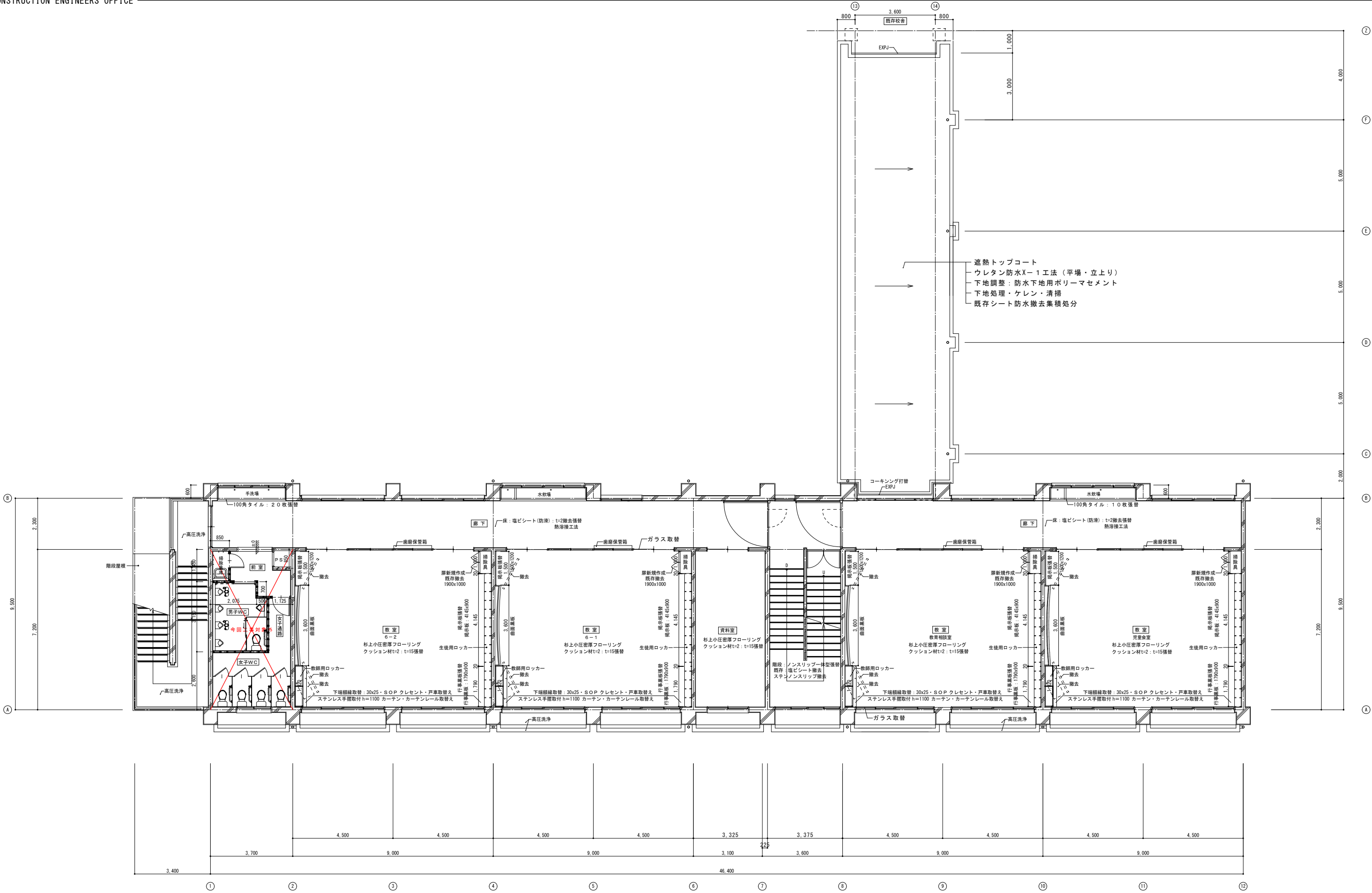
鹿児島県鹿児島市大崎町永吉6657 志布志市志布志町志布志2-10-10
TEL. 099-476-2298 FAX 099-476-2051 TEL 099-472-6700 FAX 099-472-5201

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-3-15号 1級建築士大臣登録 第193464号 小野孝輔	APPROVED CHECKED DRAWN PROJECT No. 2024-05 DATE 2024/09	PRO-ECT 志布志小学校南側校舎老朽化改修工事 TITLE 既存2階平面図	TRADE No. 建築 SCALE 1/80 A-22
---	---	--	---

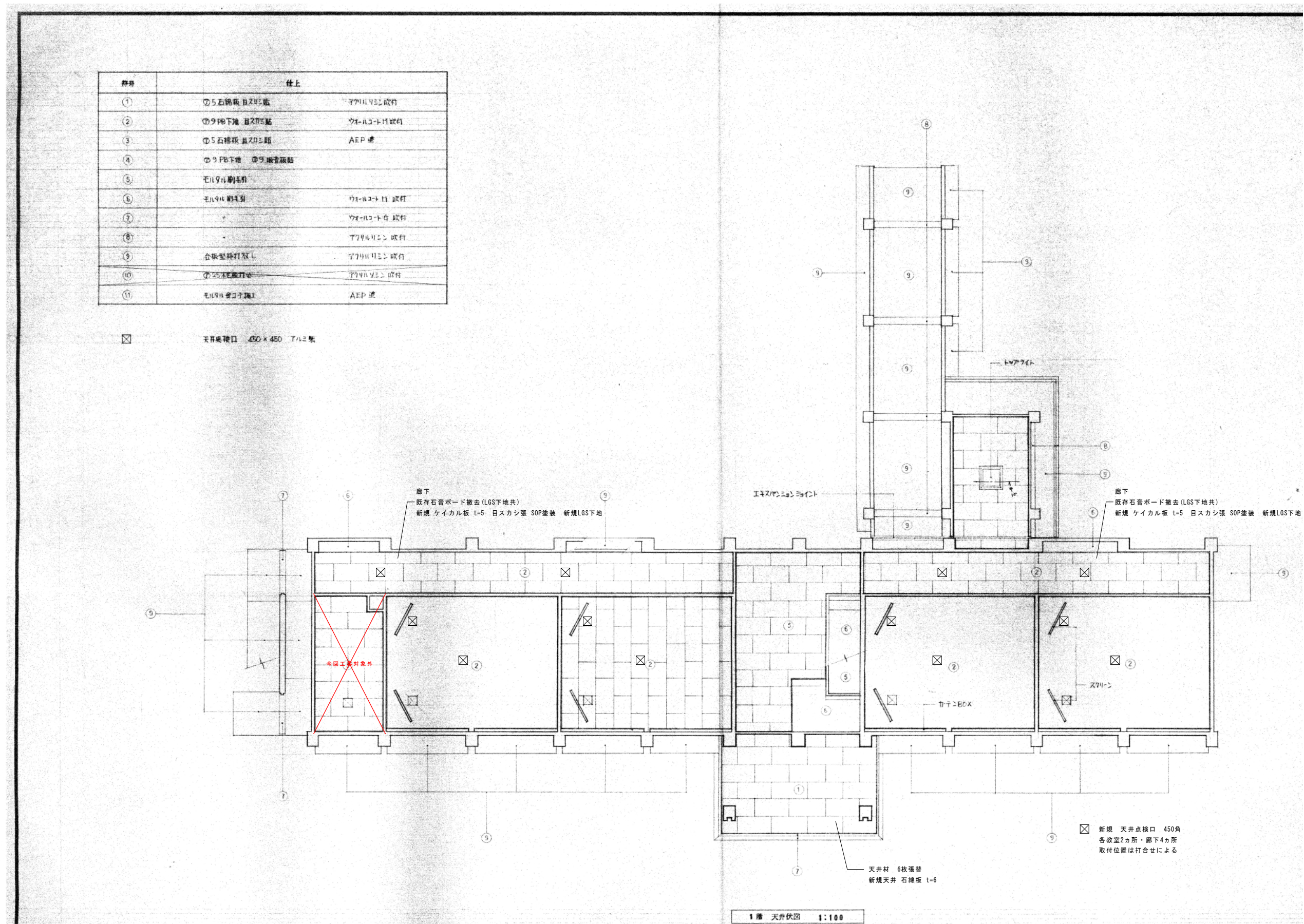


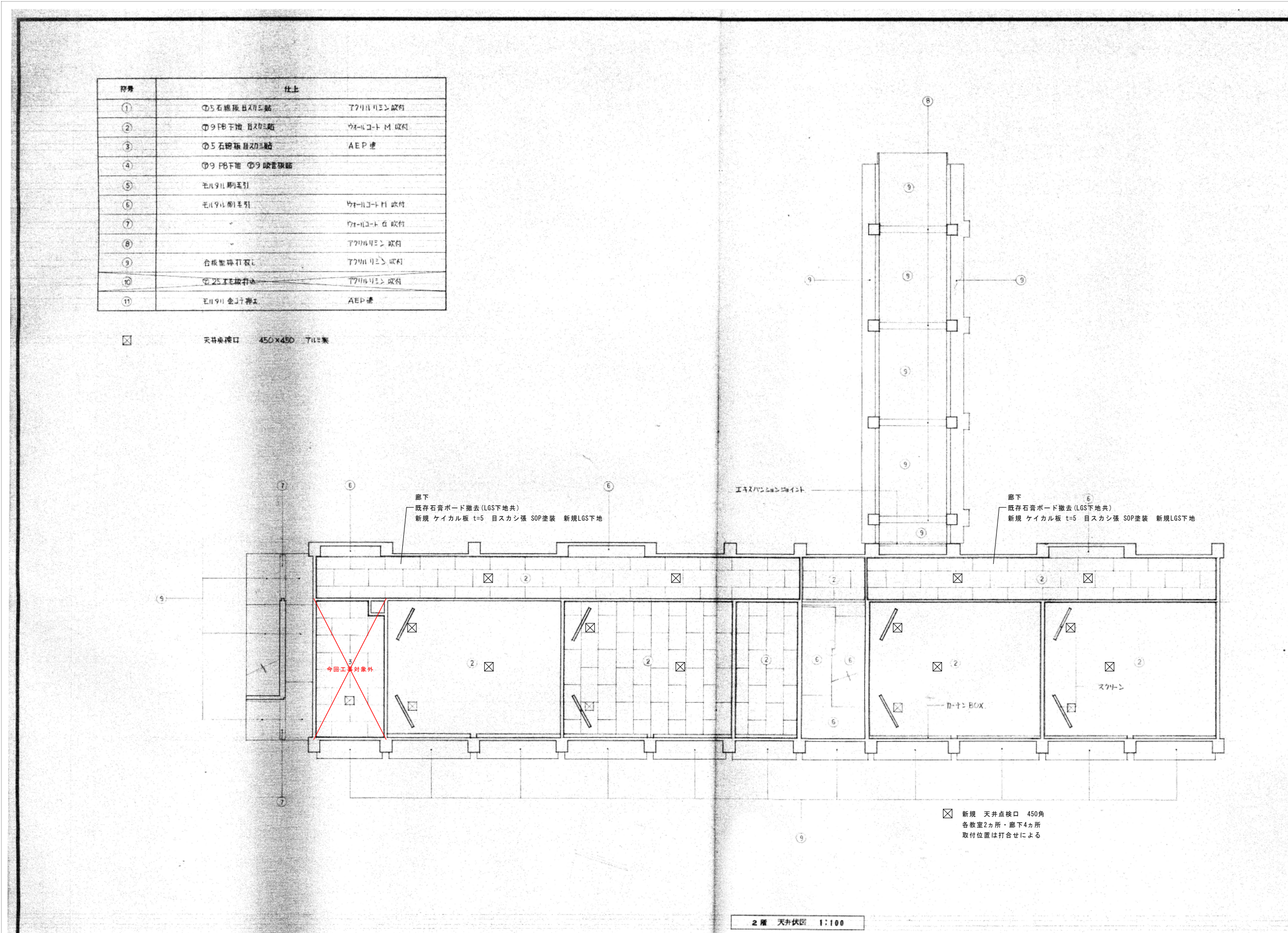
改修 2 階平面図

特記事項	



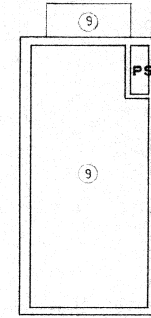
改修 3 階平面図



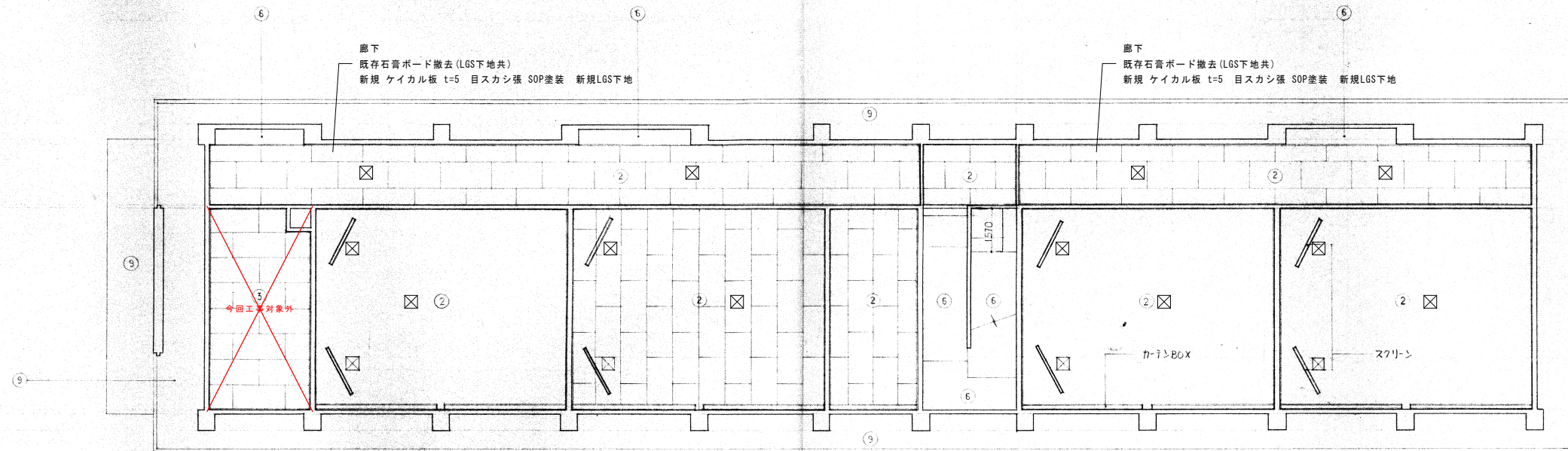


符号	仕上	
①	①5石綿板目張り貼	アクリルリシン 吹付
②	①9PB下地 目張り貼	ウオルコートH 吹付
③	①5石綿板目張り貼	AEP塗
④	①9PB下地 ①9 破音板貼	
⑤	モルタル刷毛引	
⑥	モルタル刷毛引	ウオルコートH 吹付
⑦		ウオルコートH 吹付
⑧		アクリルリシン 吹付
⑨	合板垂枠打付	アクリルリシン 吹付
⑩	①25木建板打付	アクリルリシン 吹付
⑪	モルタル金コシ工	AEP塗

☒ 天井点検口 450×450 30Lミズ

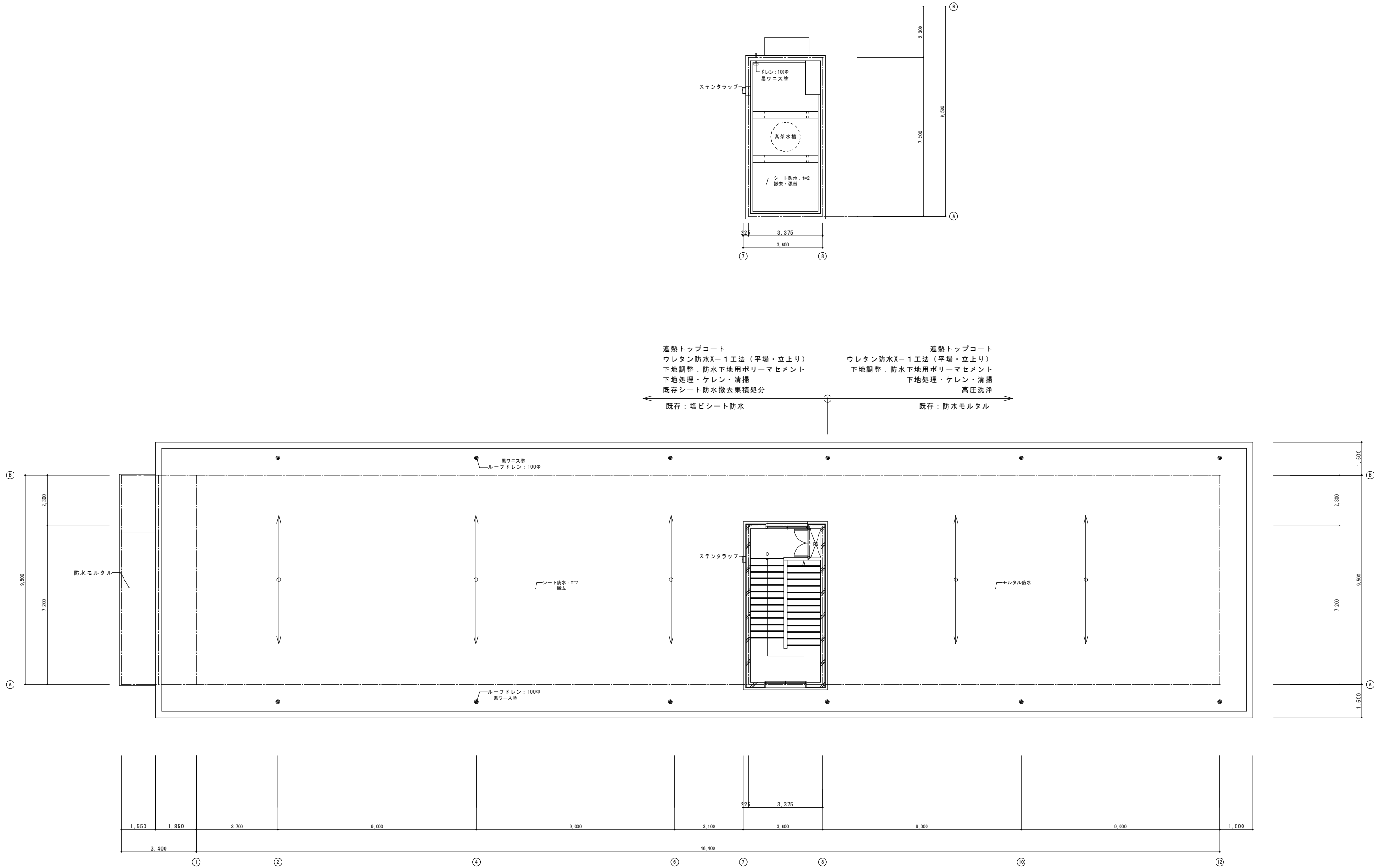


PH 階 天井伏図 1:100

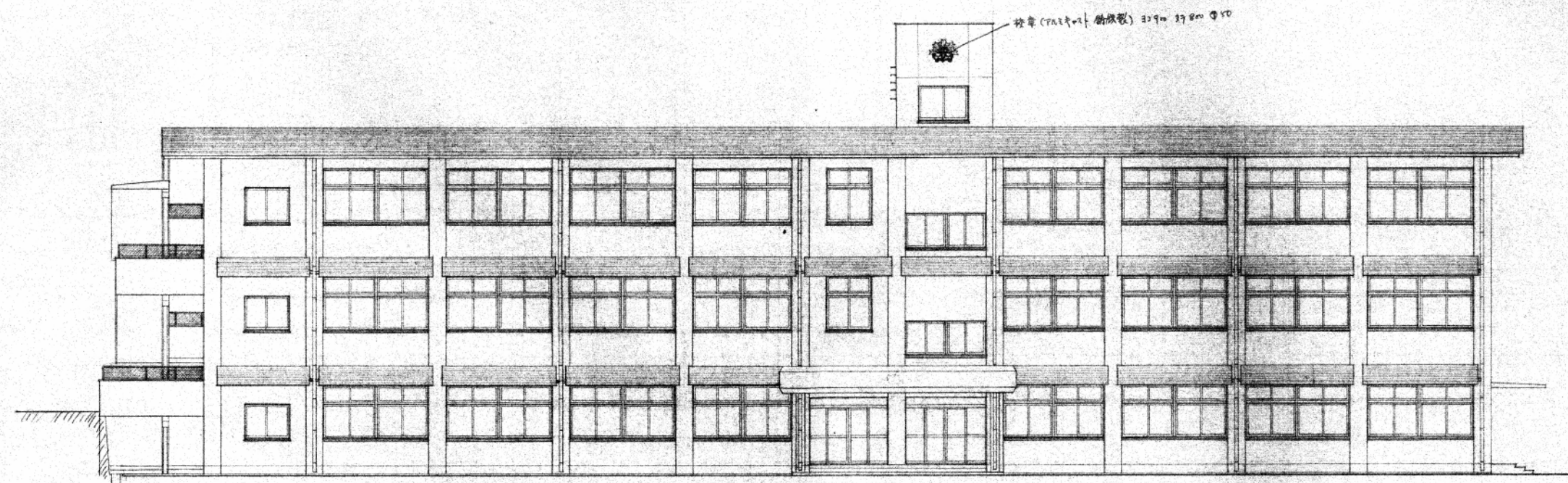


☒ 新規 天井点検口 450角
各教室2カ所・廊下4カ所
取付位置は打合せによる

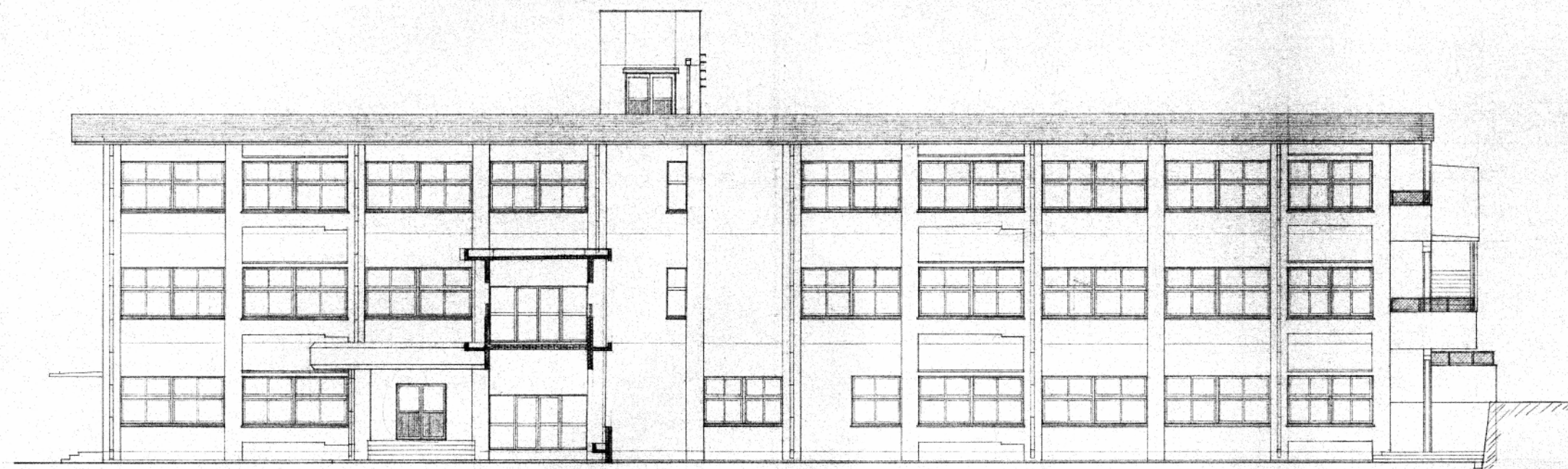
3階 天井伏図 1:100



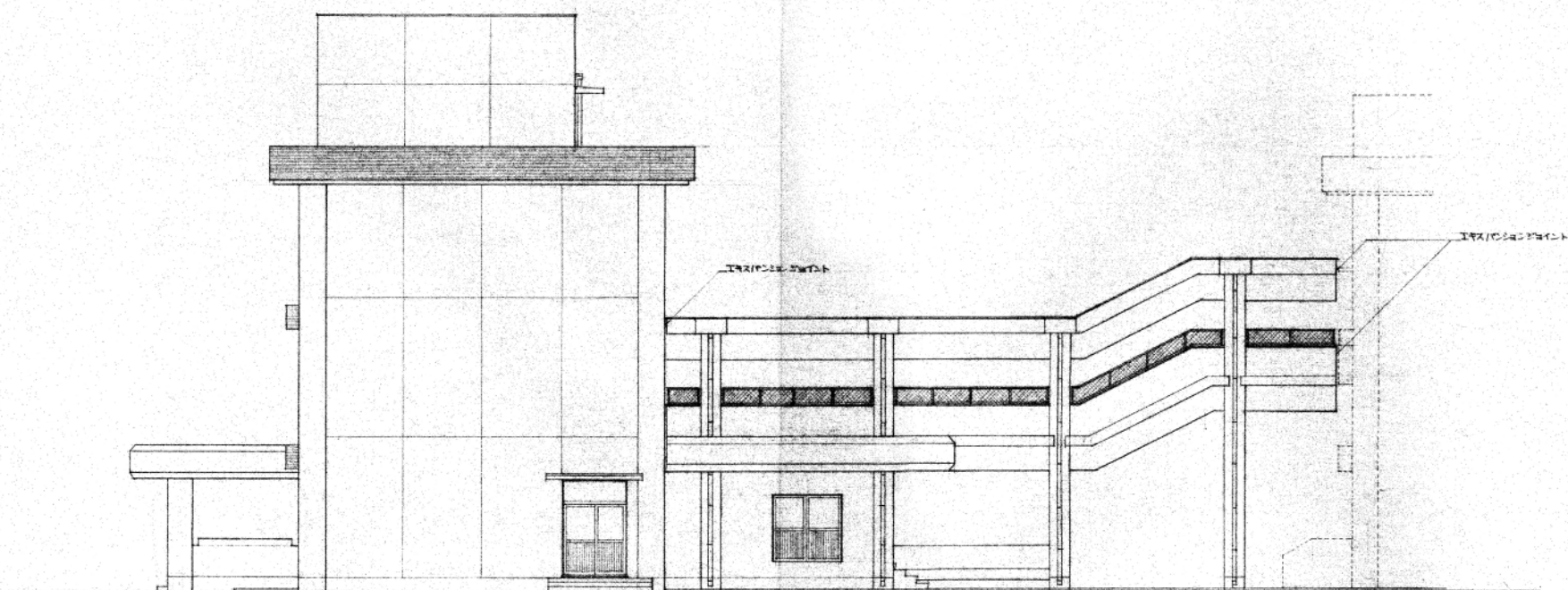
改修 屋根伏図



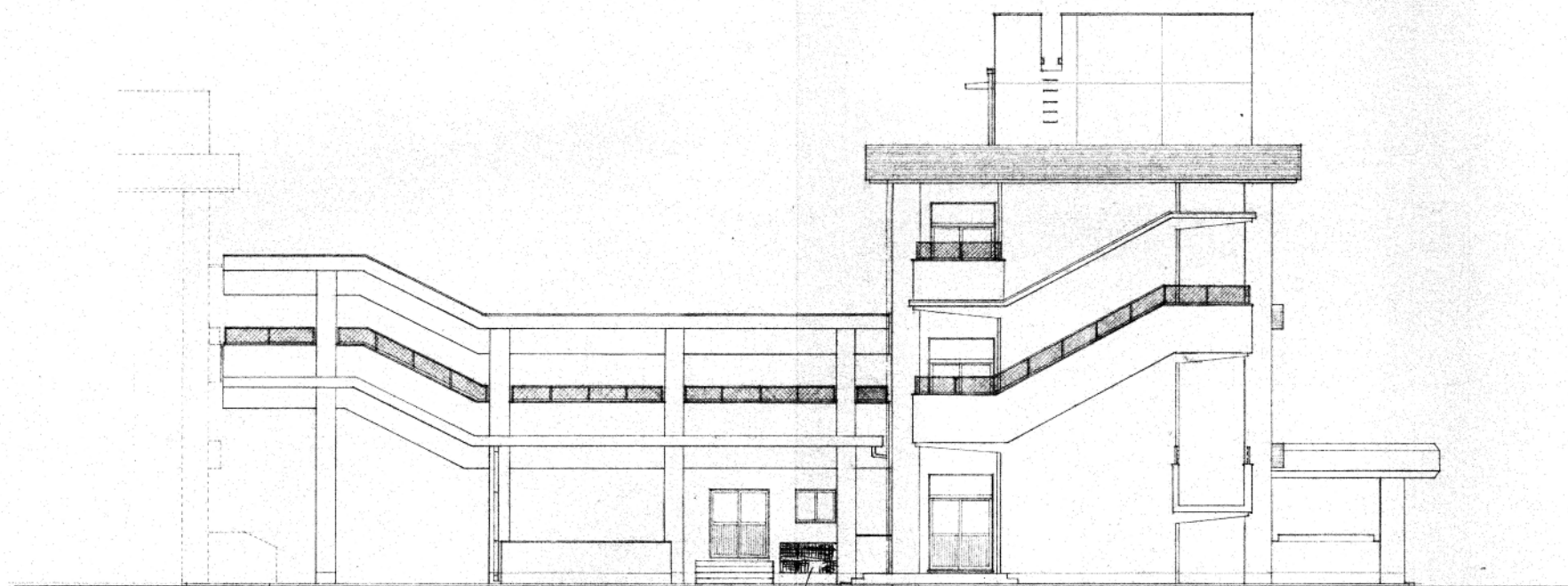
南側立面図 1:100



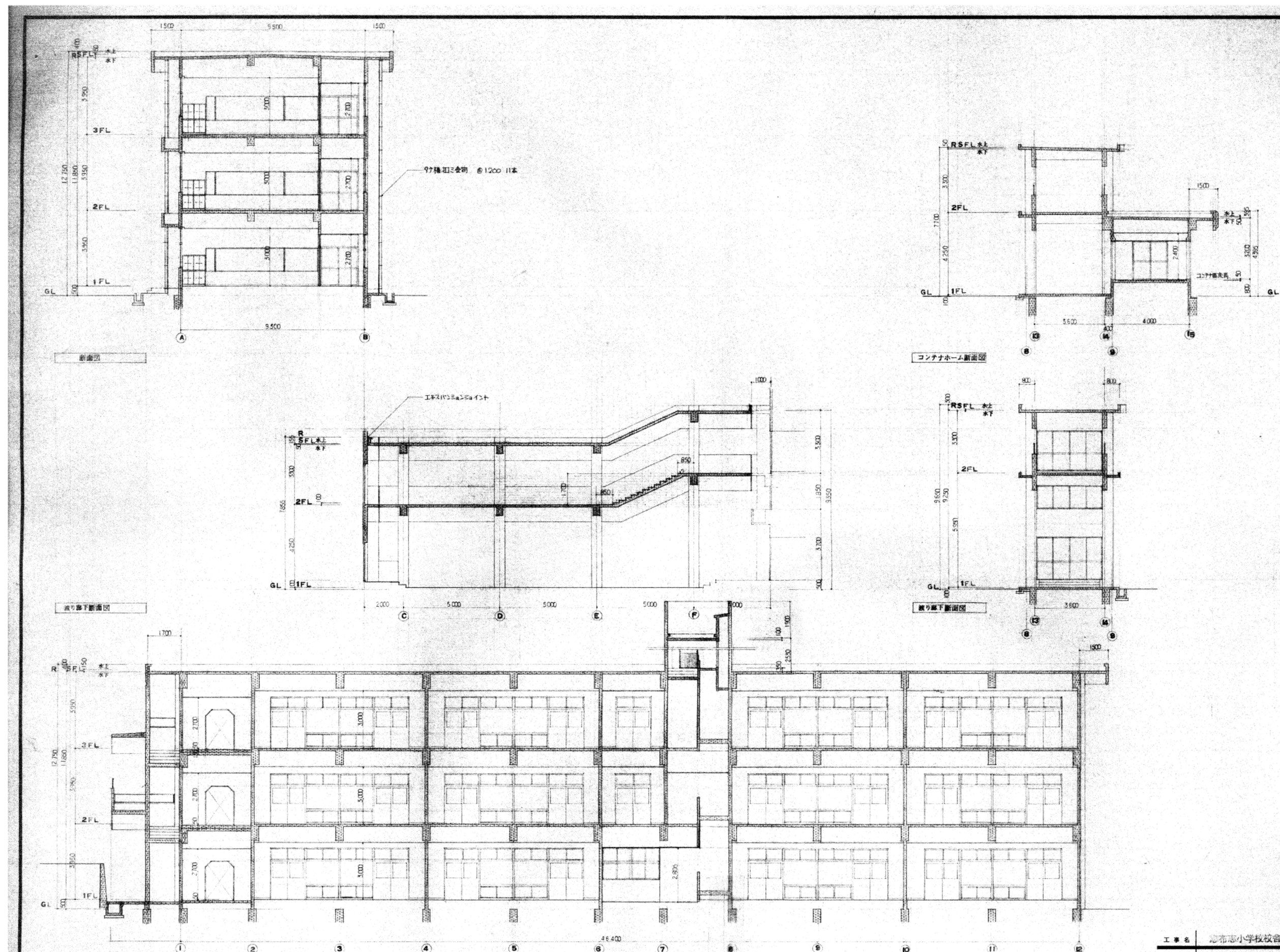
北側立面図 1:100



東側立面図 1:100



西側立面図 1:100



特記事項

ONO.CEO

ONO CONSTRUCTION ENGINEERS OFFICE
 小野設計
 鹿児島県知事登録 第1-3-15号
 1級建築士大臣登録 第193464号 小野孝輔

1級建築士事務所
 鹿児島県知事登録 第1-3-15号
 1級建築士大臣登録 第193464号 小野孝輔

APPROVED

CHECKED

DRAWN

PROJECT No.

PROJECT

志布志小学校南側校舎老朽化改修工事

2024-05

DATE

2024/09

TITLE

断面図

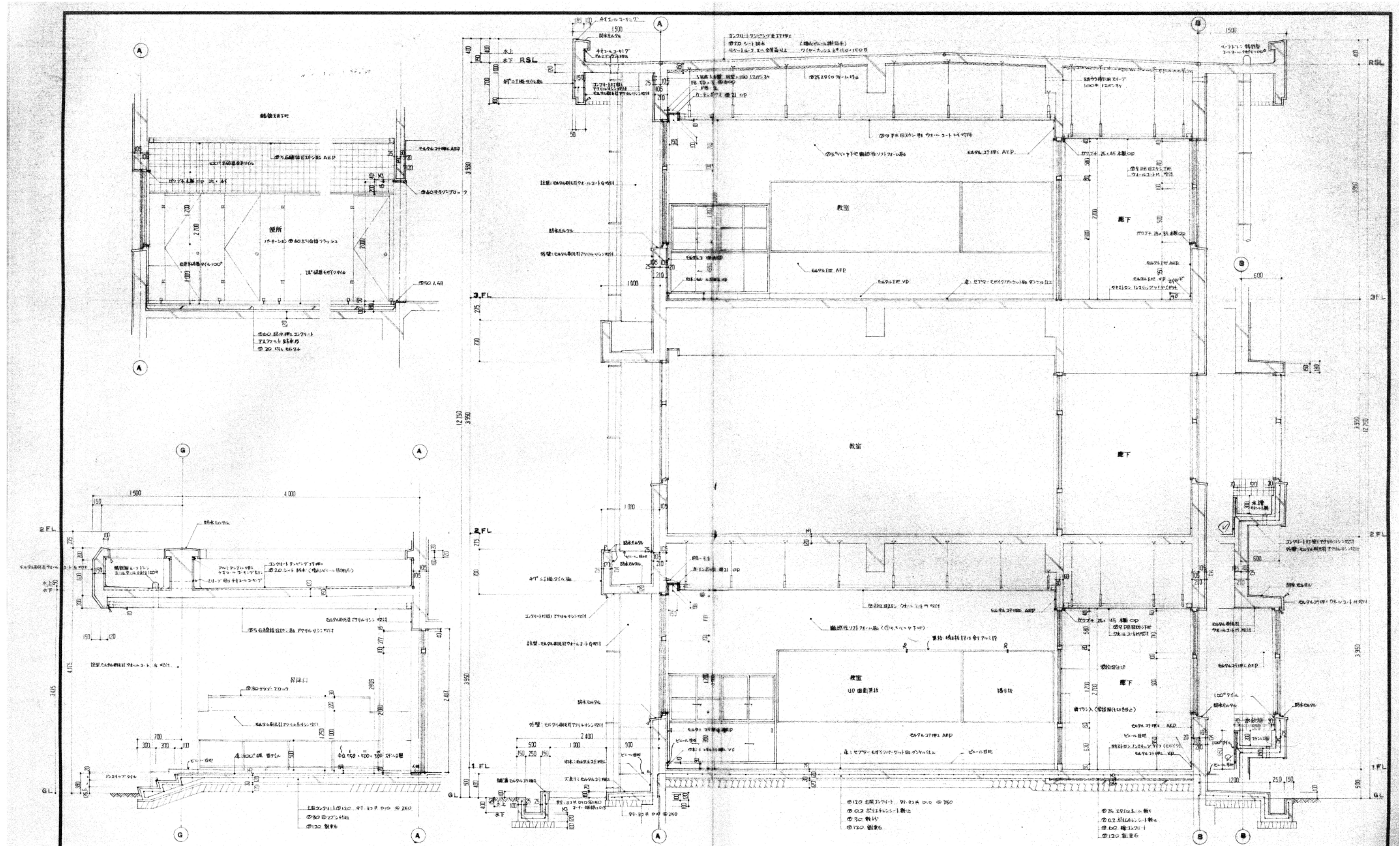
TRADE

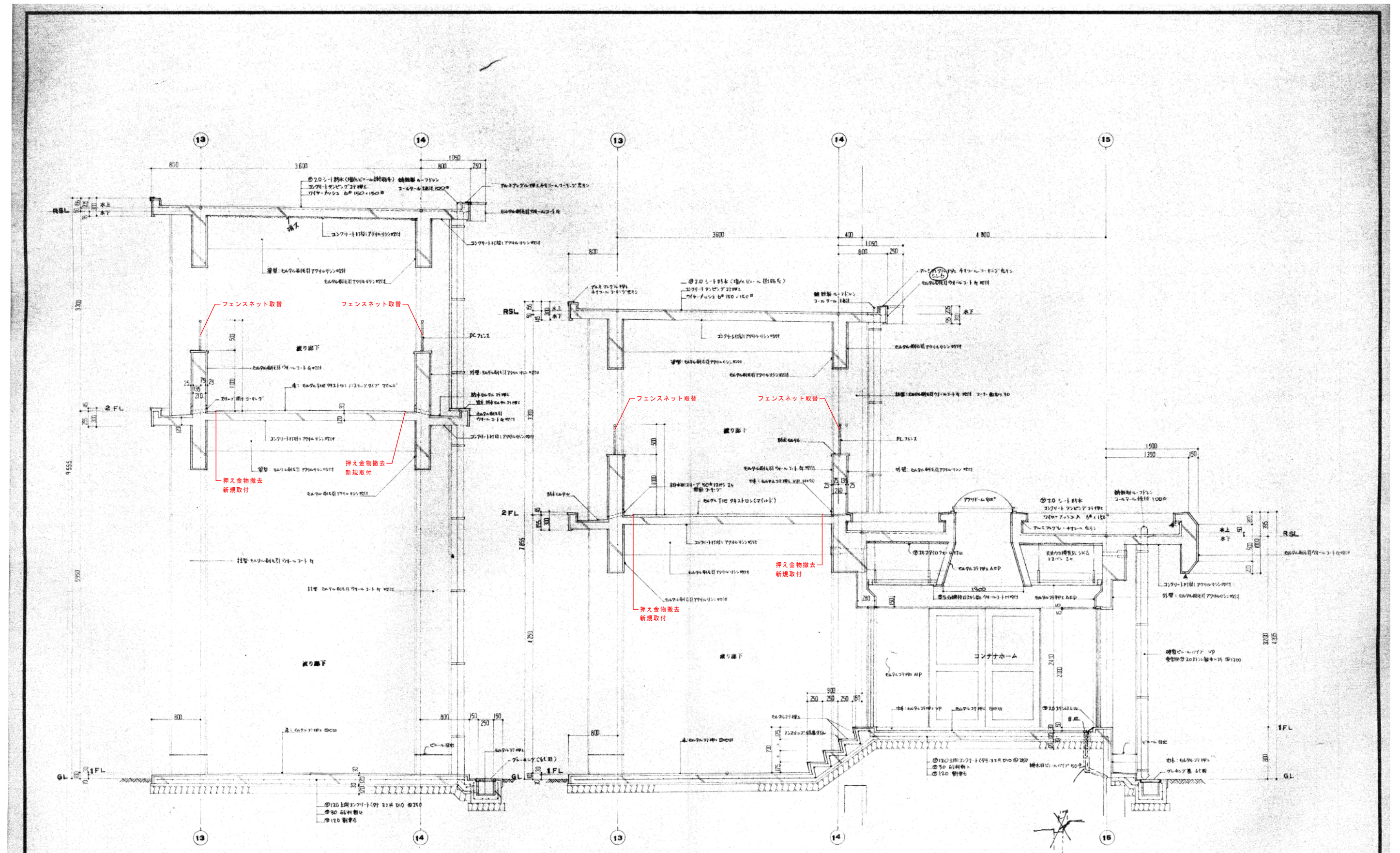
No.

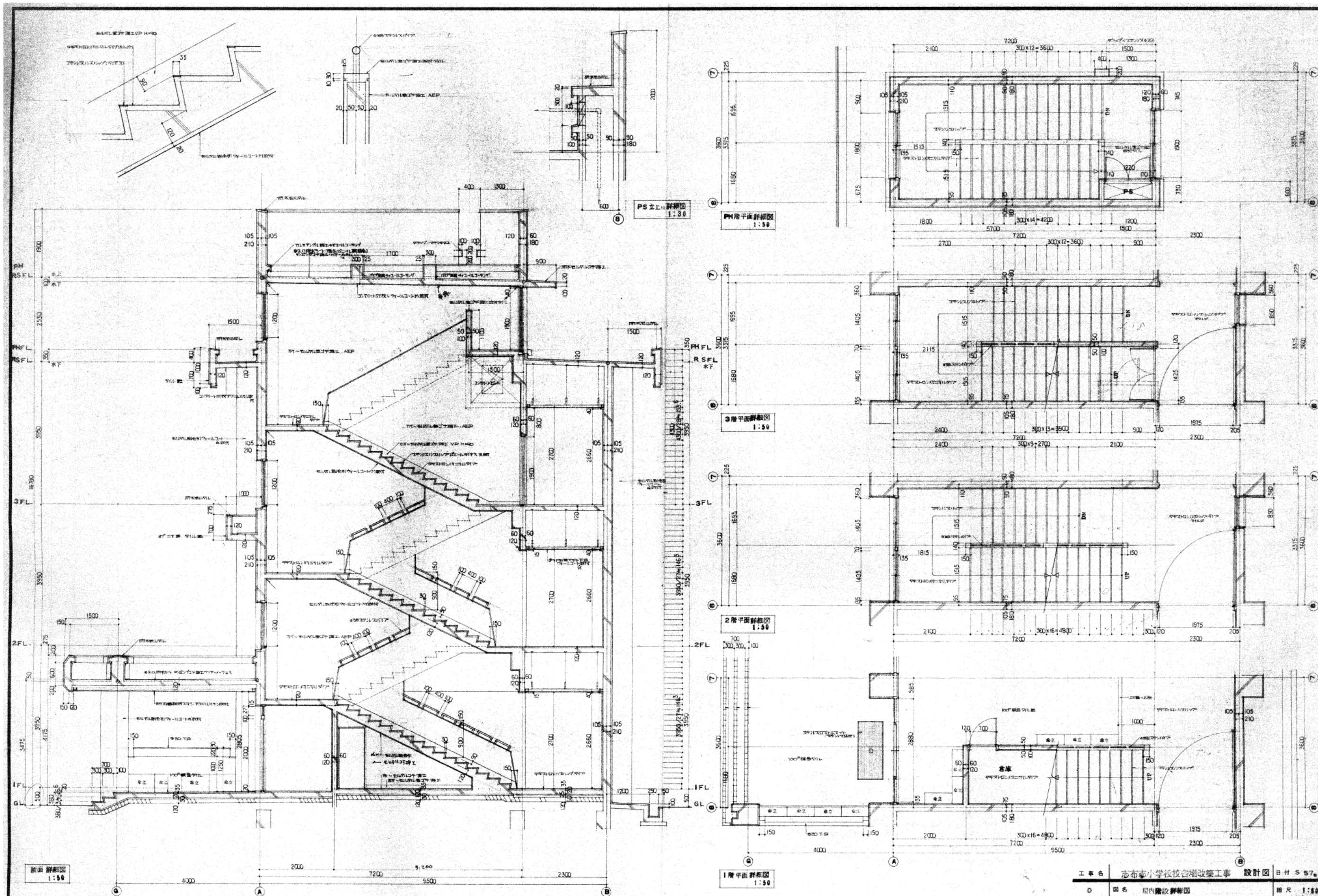
SCALE

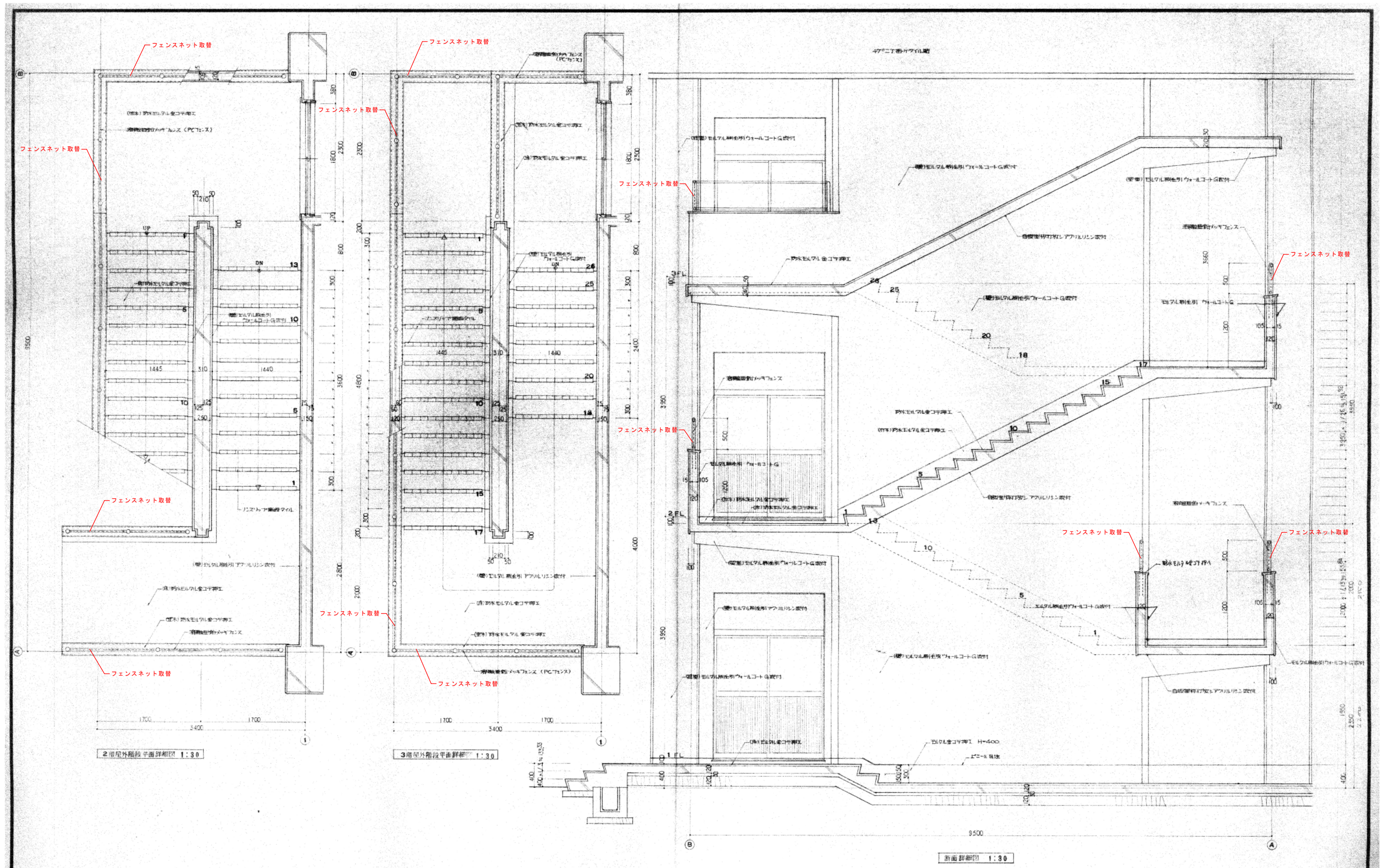
1/100

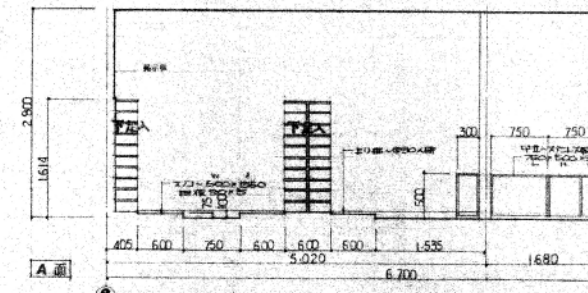
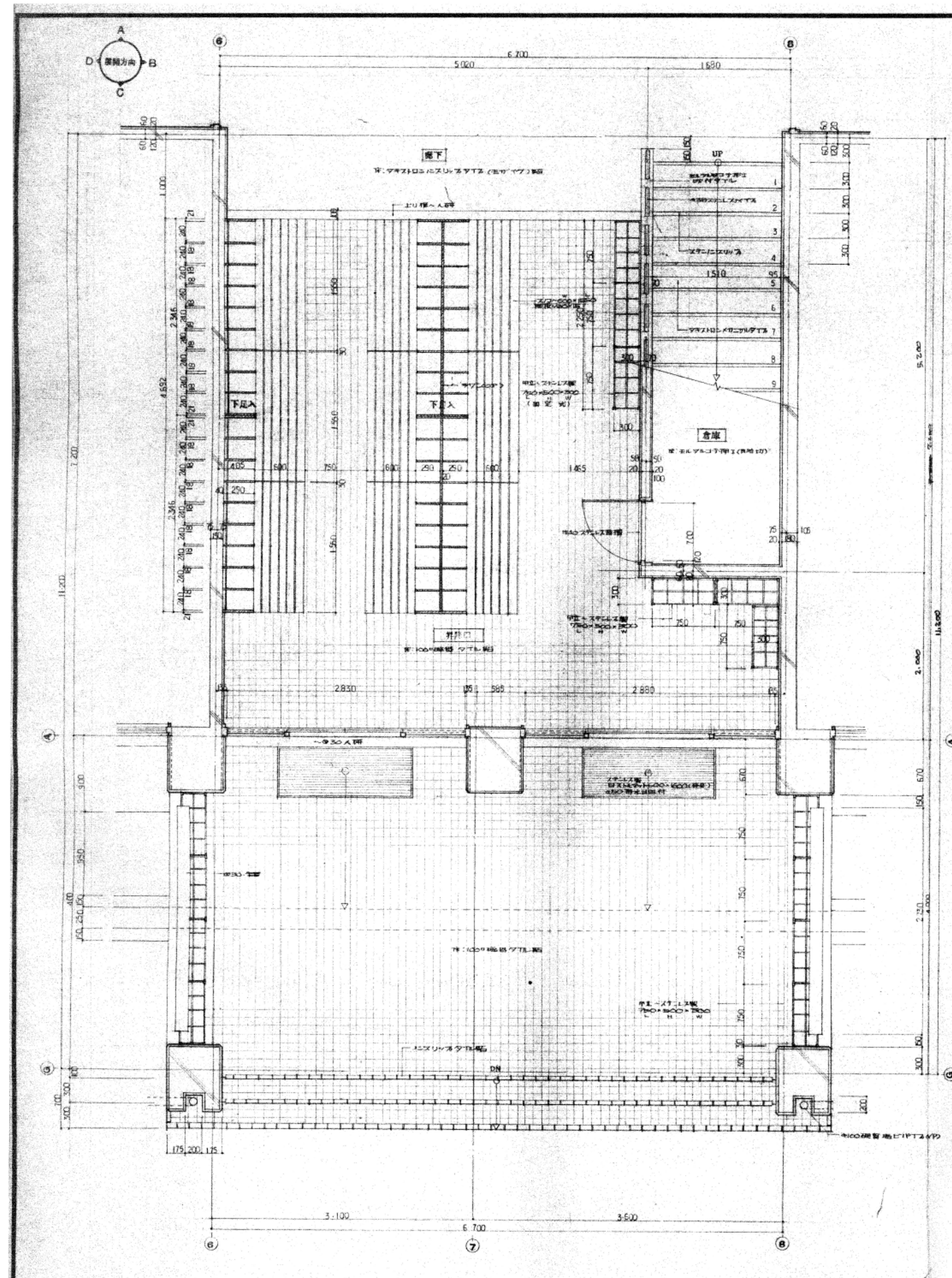
A-33



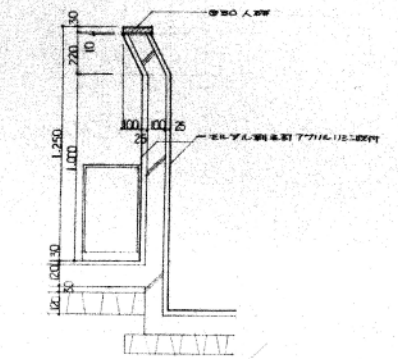
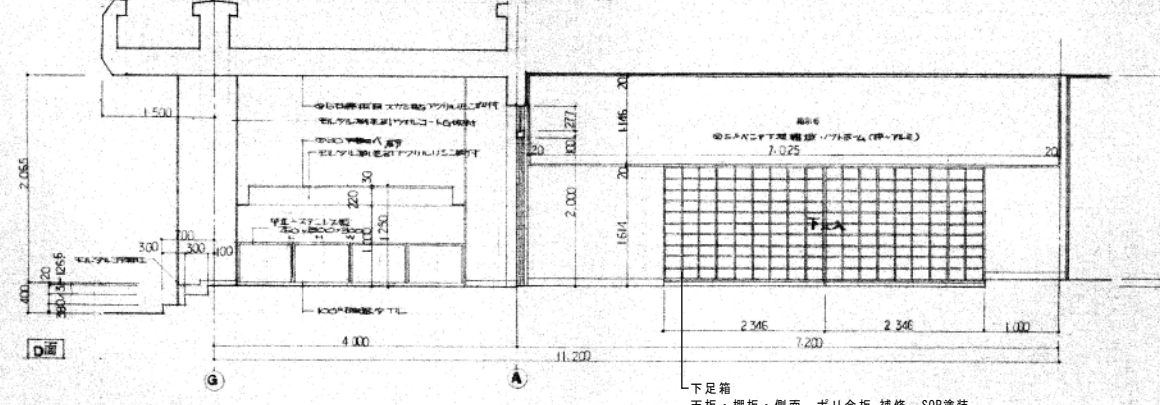
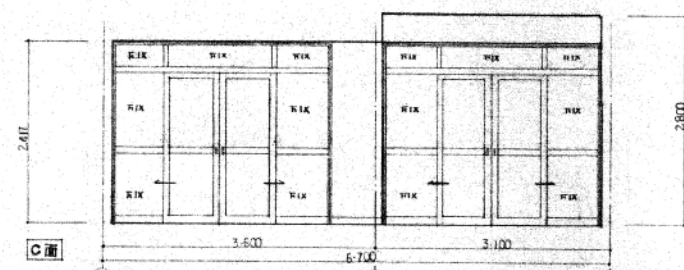
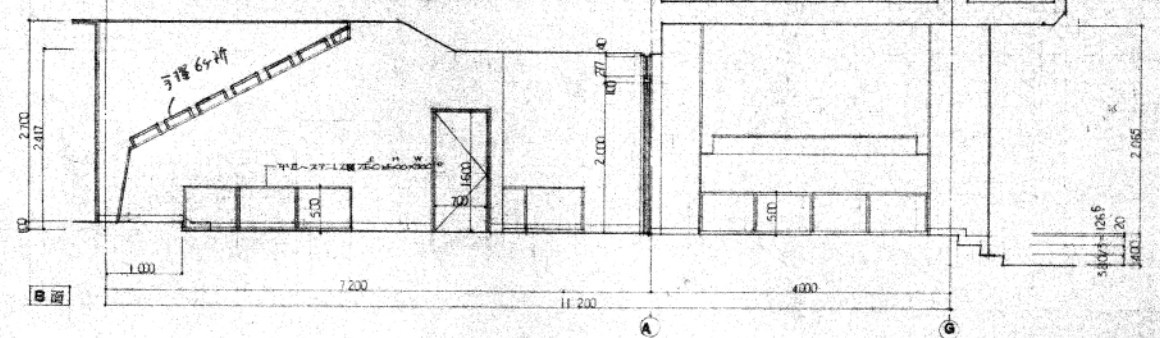








室内仕上表	
床	100% 遮熱・断熱・タイル張り
巾木	セルクル・コンクリート (100%)
壁	セルクル・コンクリート (100%)
天井	断熱・遮熱・断熱・タイル張り (100%)
備考	その他、必要に応じて、別途仕様を定める。



下足箱
天板・棚板・側面 ポリ合板 補修・SOP塗装

工事名	志布志小学校校舎増築改修工事	設計図	目付
図名	昇降口	詳細図	展開図
縮尺	1/50		

特記事項

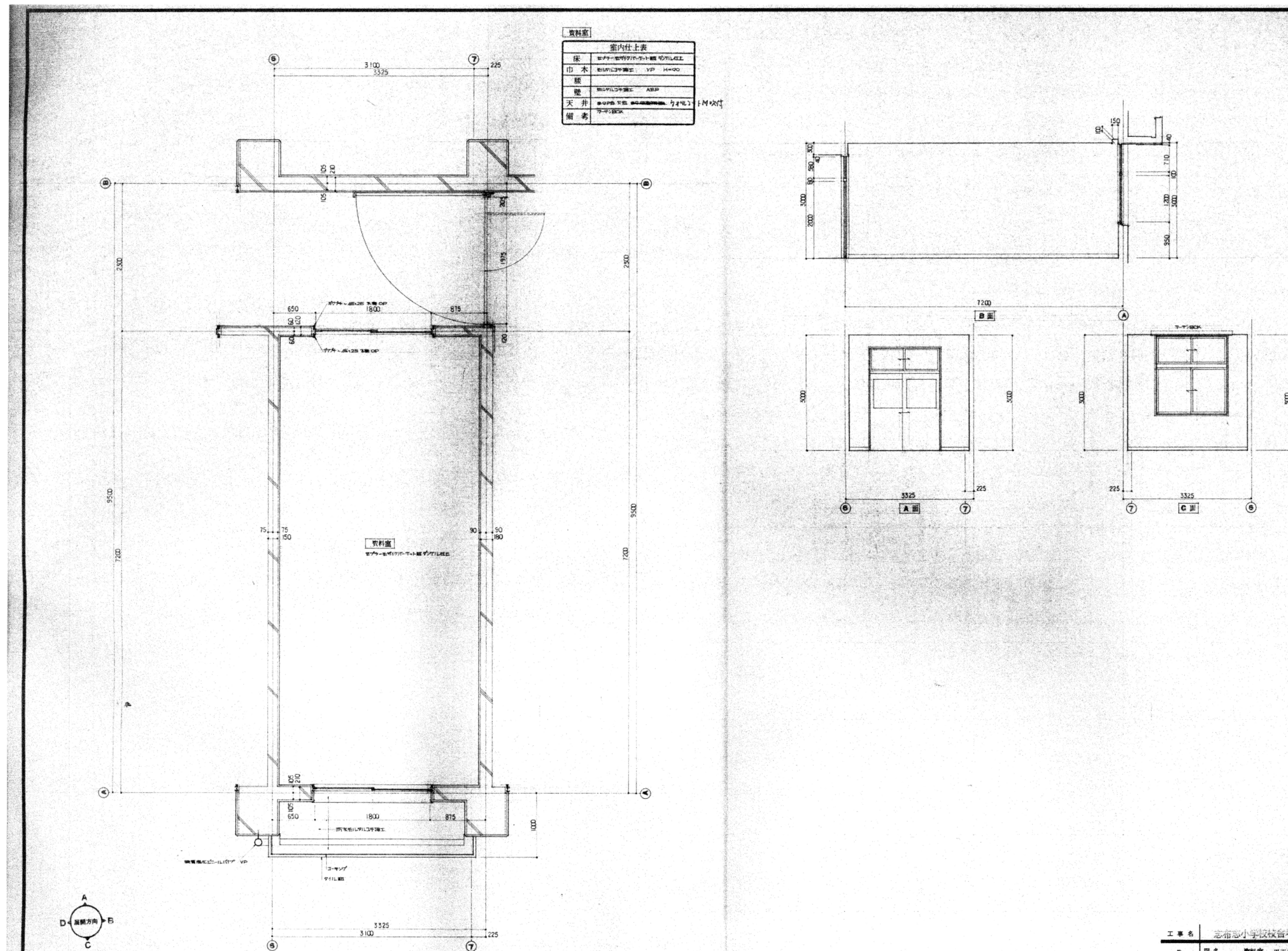
ONO CONSTRUCTION ENGINEERS OFFICE
小野設計
TEL 099-476-3298 FAX 099-476-2051

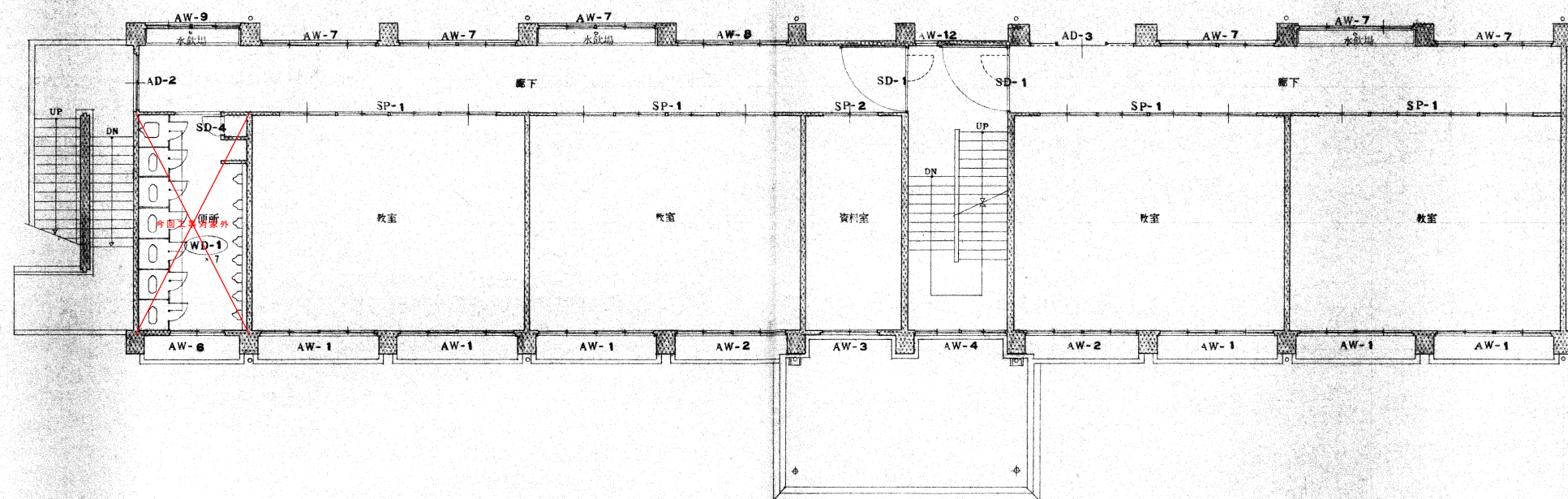
1級建築士事務所
鹿児島県知事登録 第1-3-15号
1級建築士大臣登録
第193464号 小野孝輔

APPROVED CHECKED DRAWN
PROJECT No. 2024-05
DATE 2024/09

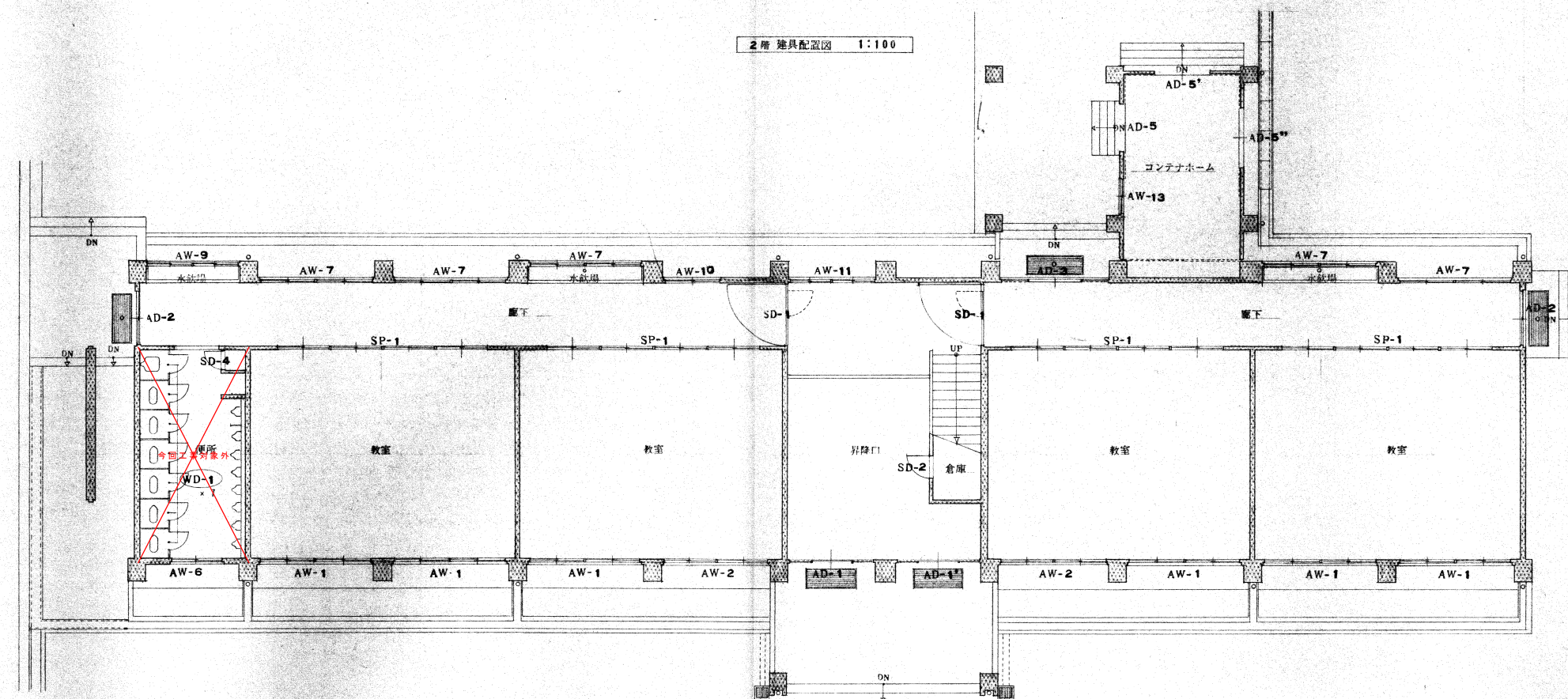
PROJECT 志布志小学校南側校舎老朽化改修工事
TITLE 昇降口 平面詳細図・展開図

TRADE No. 建築
SCALE 1/50・30 A-38



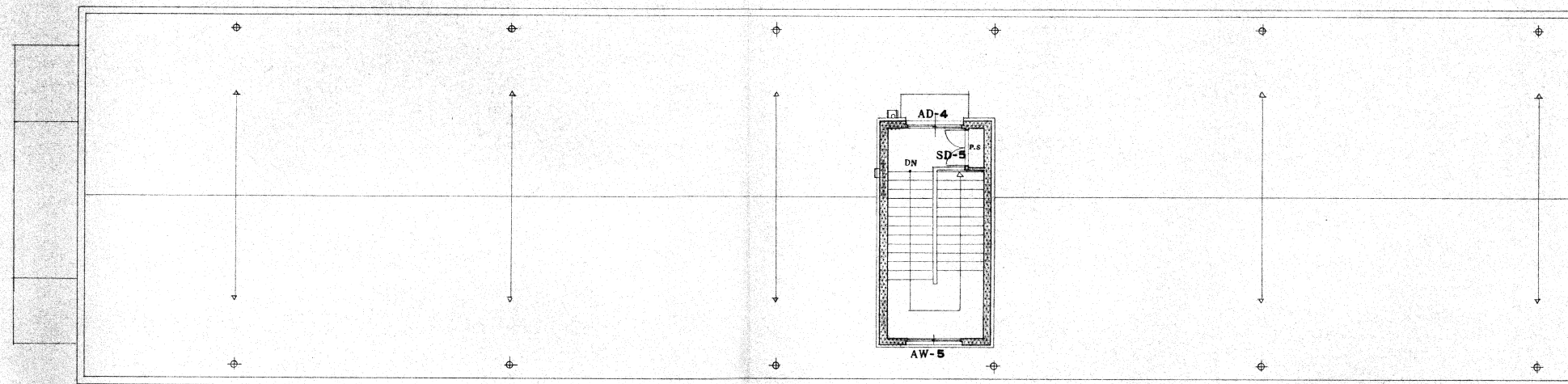


2階 建具配置図 1:100

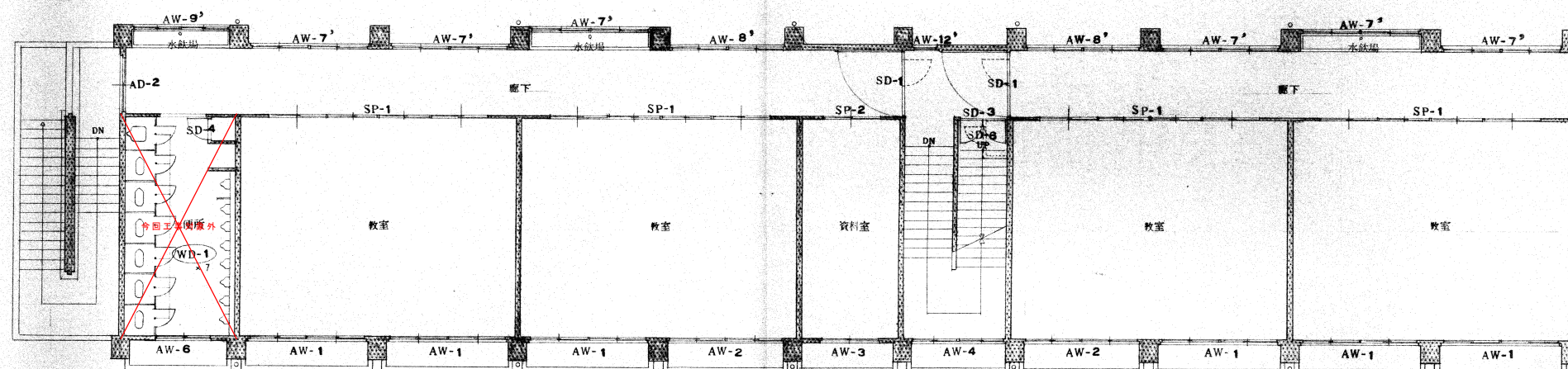


1階 建具配置図 1:100

工事名	志布志小学校校舎増改築工事 設計図		日付	2024.05.06
D	図名	1・2階 建具配置図	縮尺	1:100



2階 建具配置図 1:100



3階 建具配置図 1:100

有限
会社

小野設計

鹿児島県曾根郡大崎町永吉6857 近南志布志町志那志南志2-10-10
TEL. 0996-87-0288 FAX 0996-87-0582 E-MAIL: ONO@ONO-CEO.COM

1 級建築士事務所
鹿児島県知事登録
第1-3-15号

1 級建築士大臣登録
第1.3.3.4.6.4号
小野 孝輔

APPROVED

CHECKED

DRAWN

PROJECT No.

2024-05

PROJECT

志布志小学校南側校舎老朽化改修工事

DATE

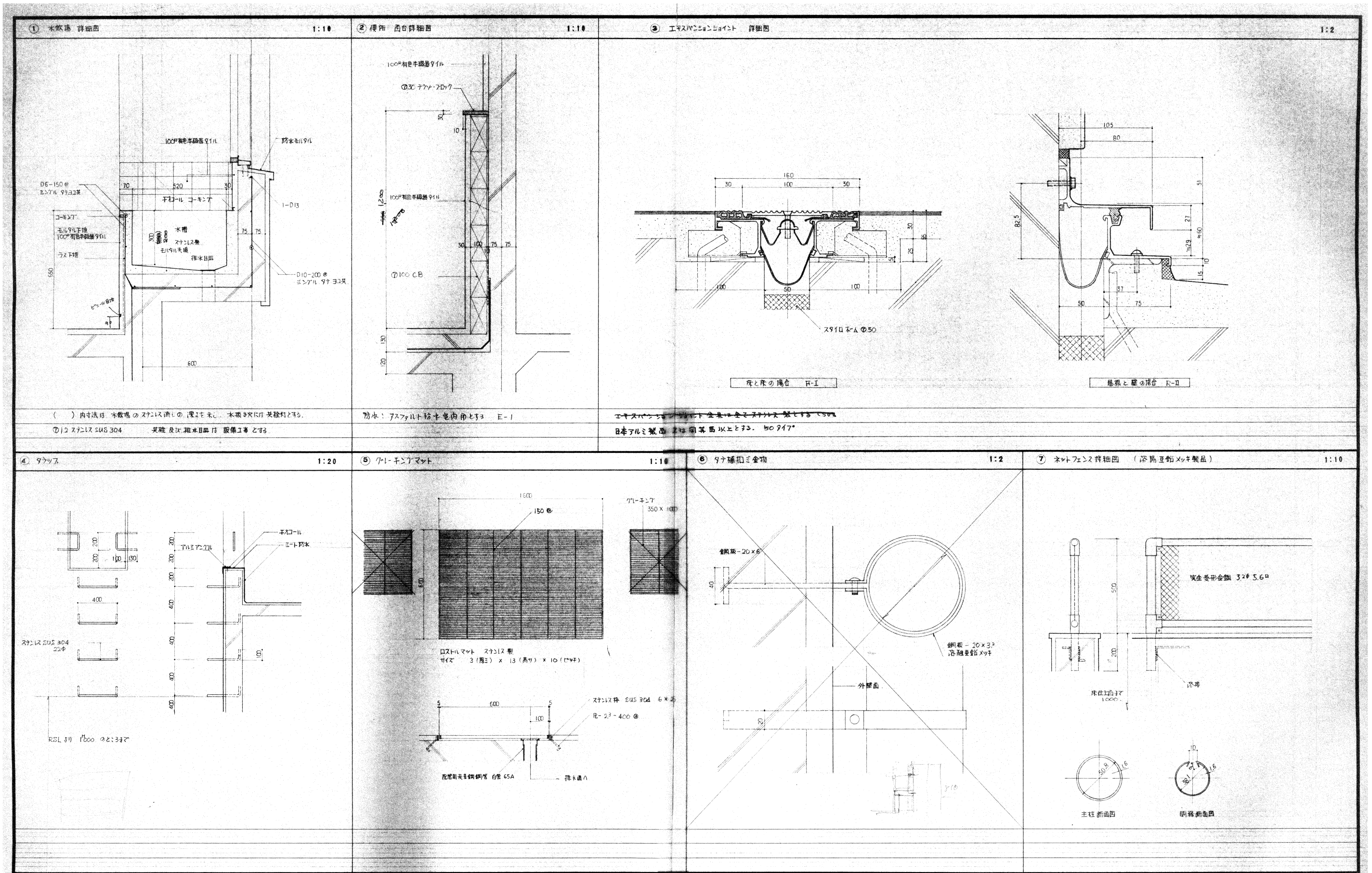
2024/09

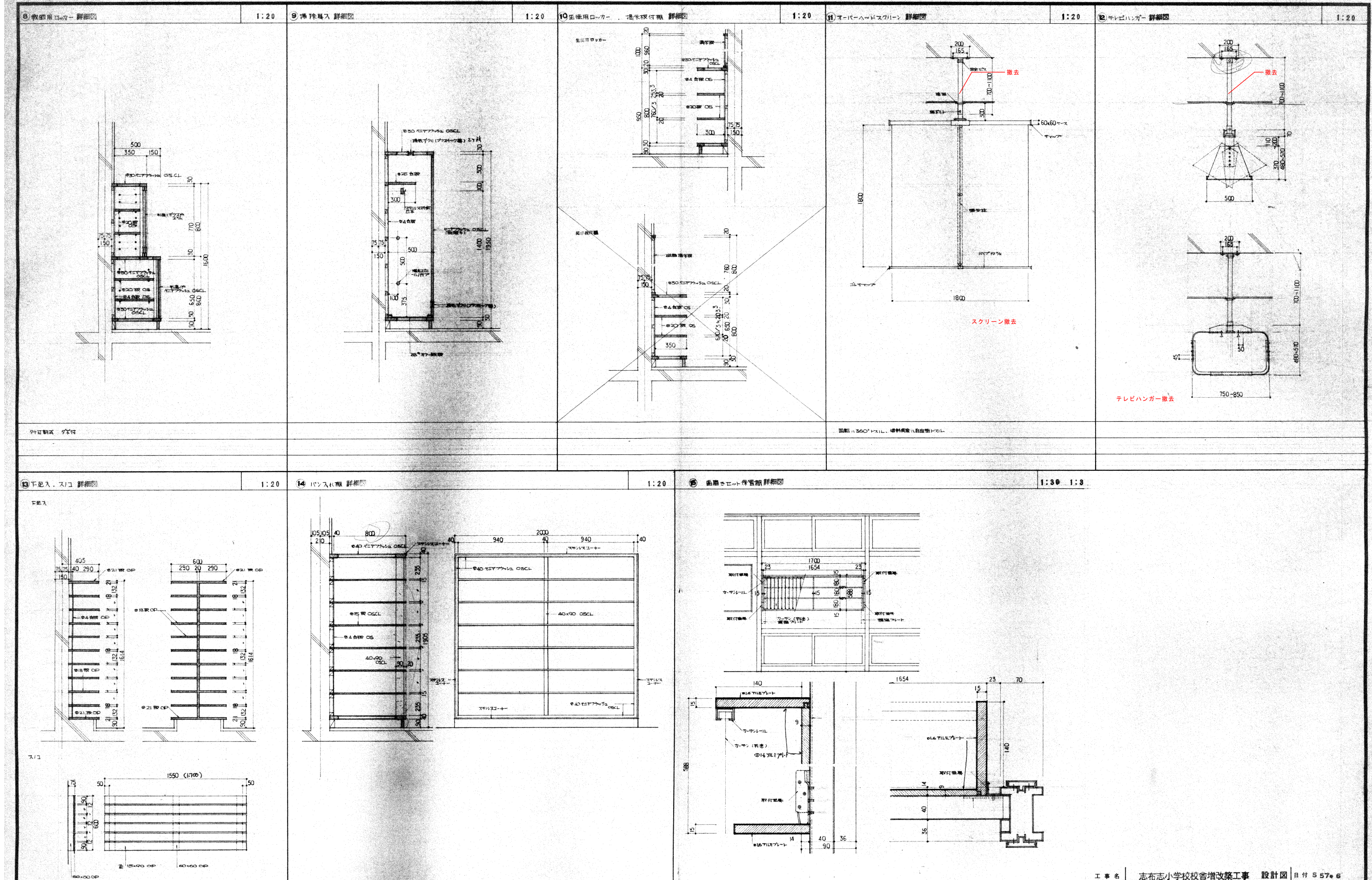
TITLE

建具表

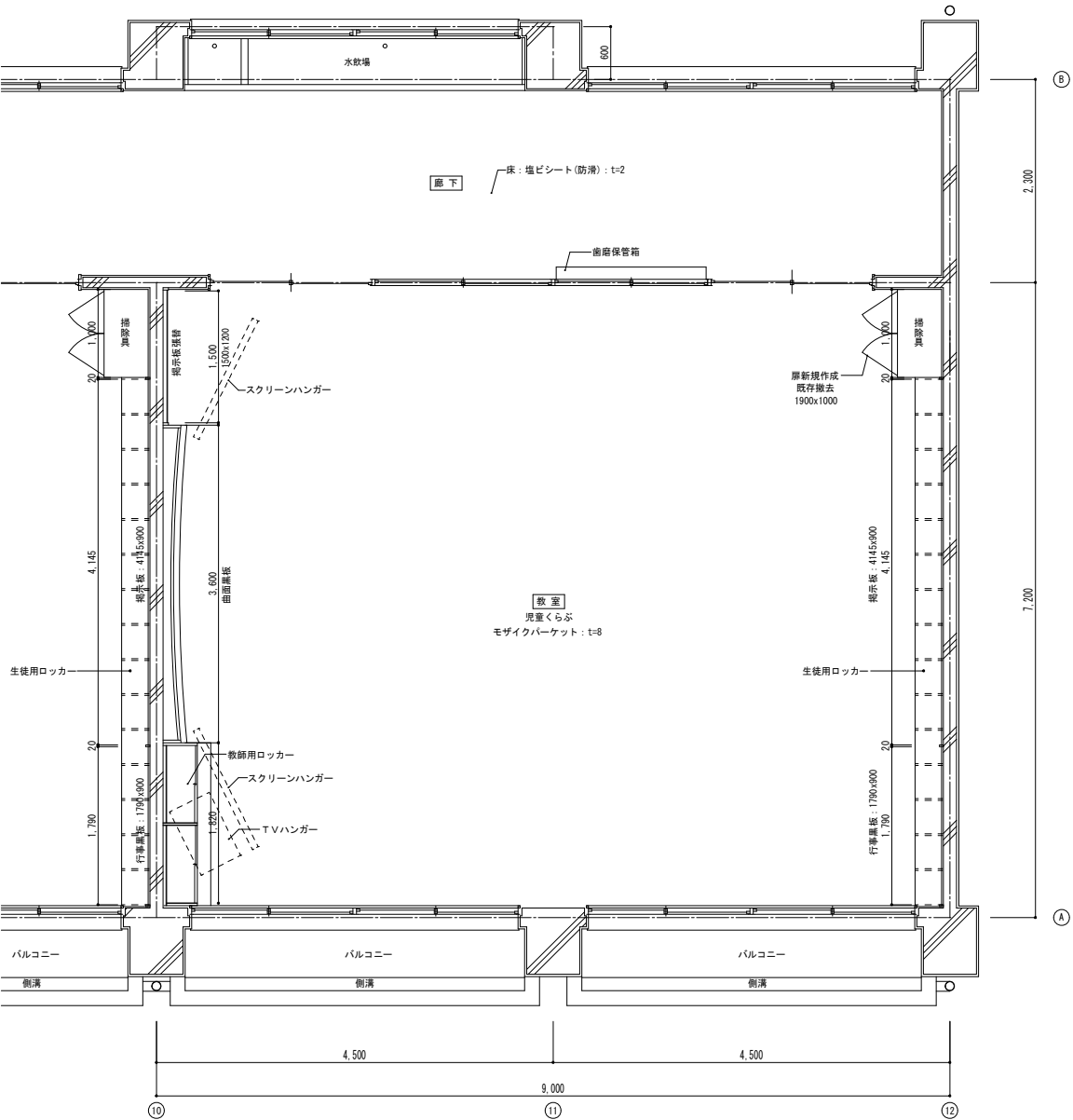
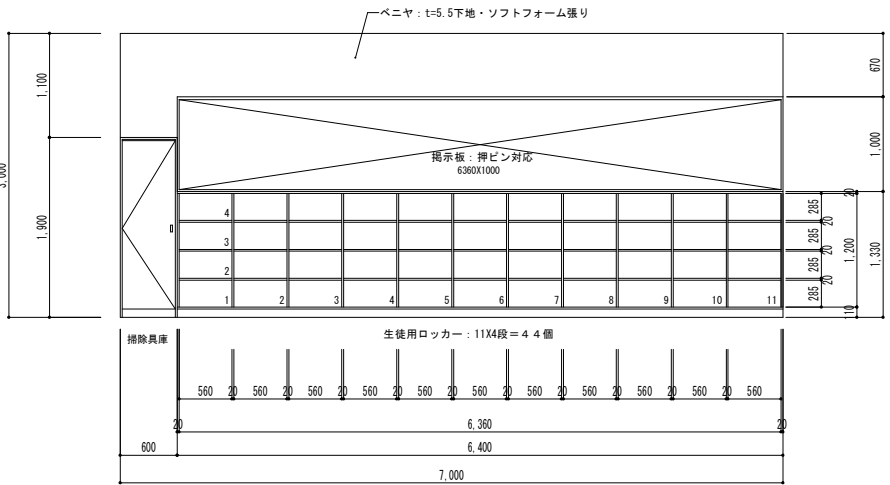
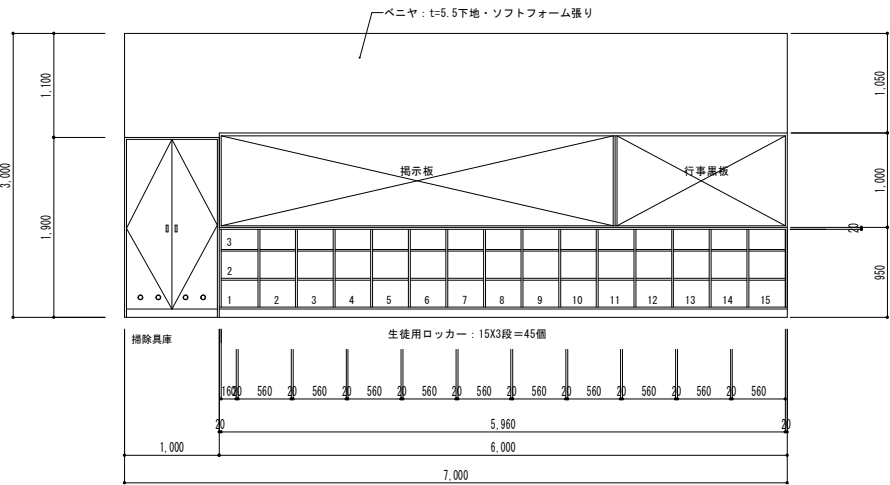
SCALE

1/50

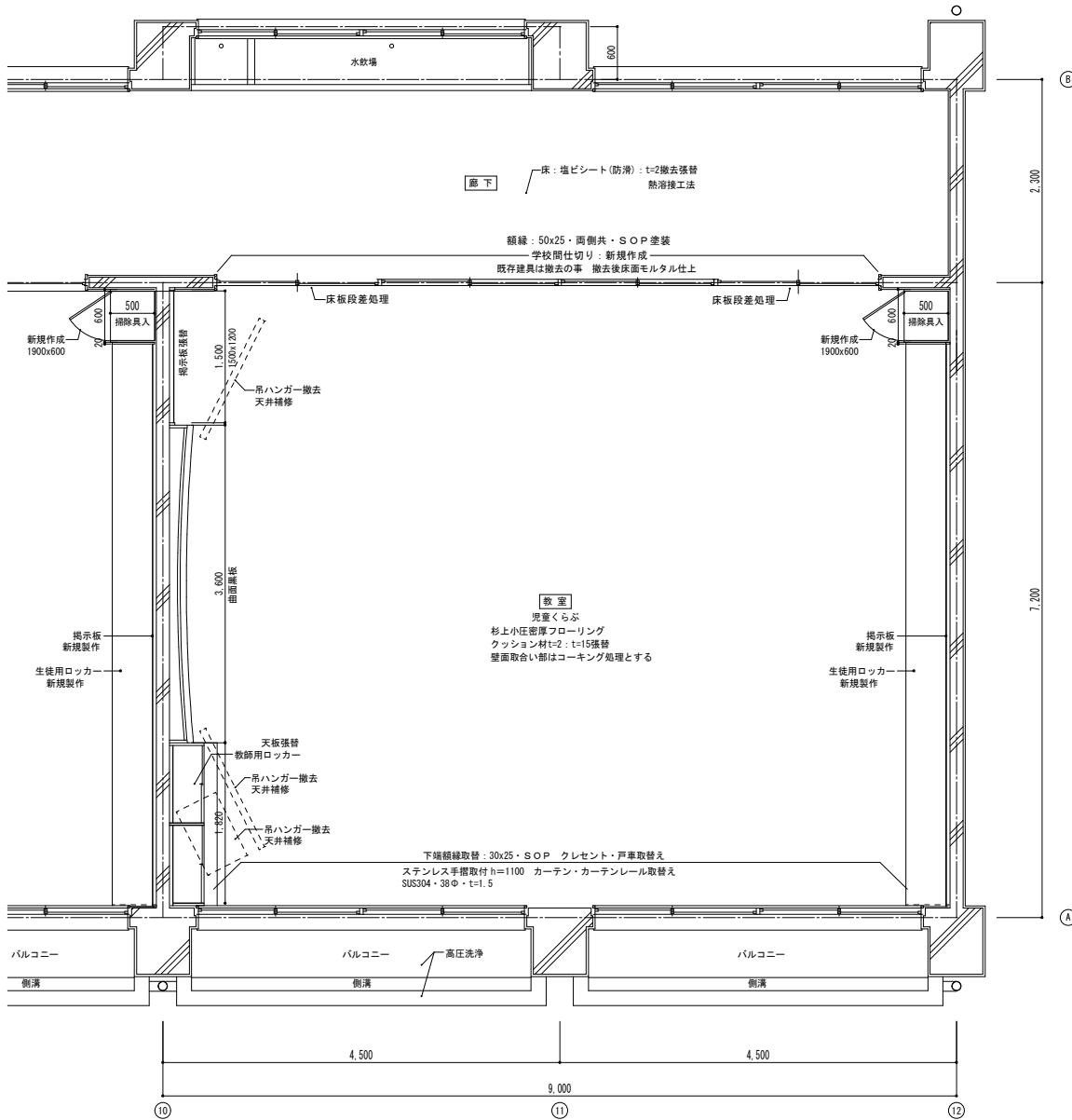




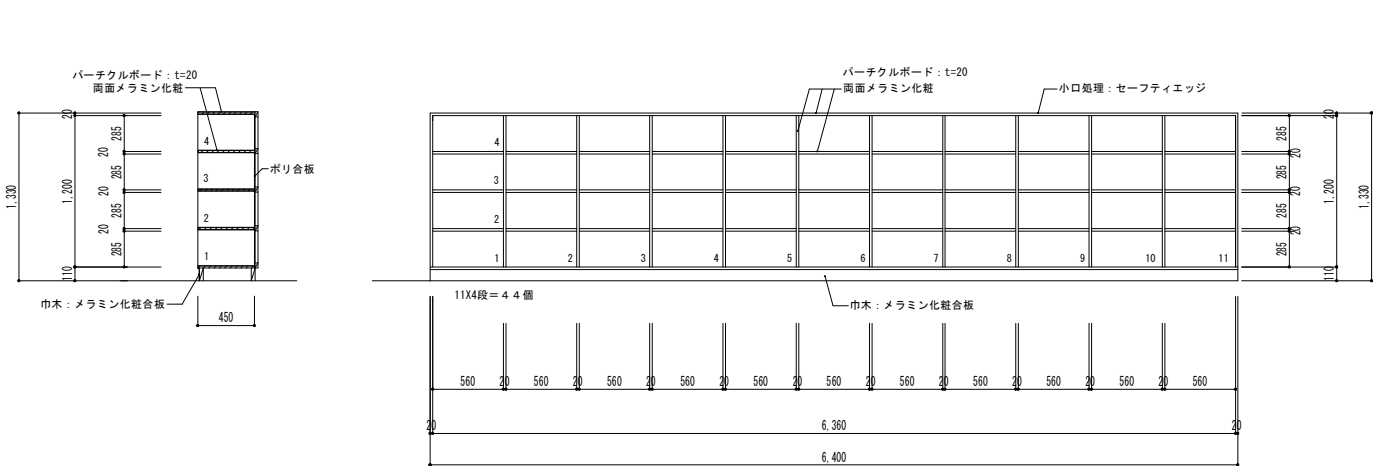
工事名 志布志小学校校舎増改築工事 設計図 日付 557.6



既存 教室平面図

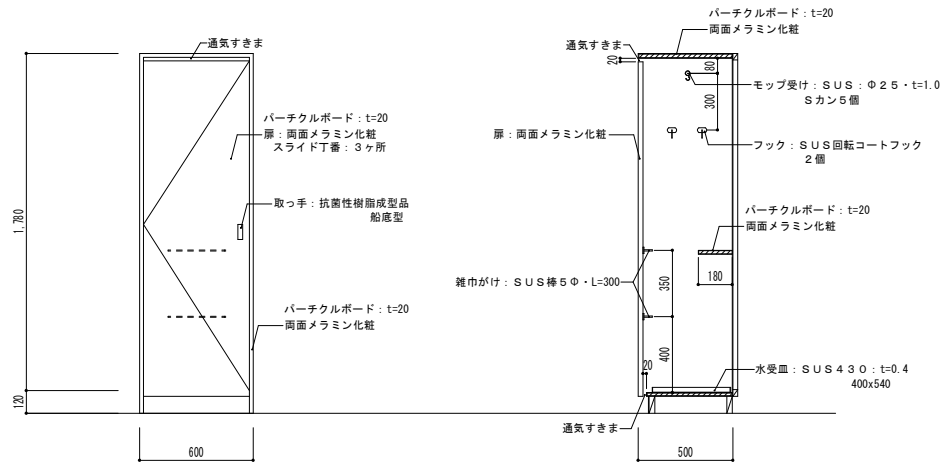


改修 教室平面図



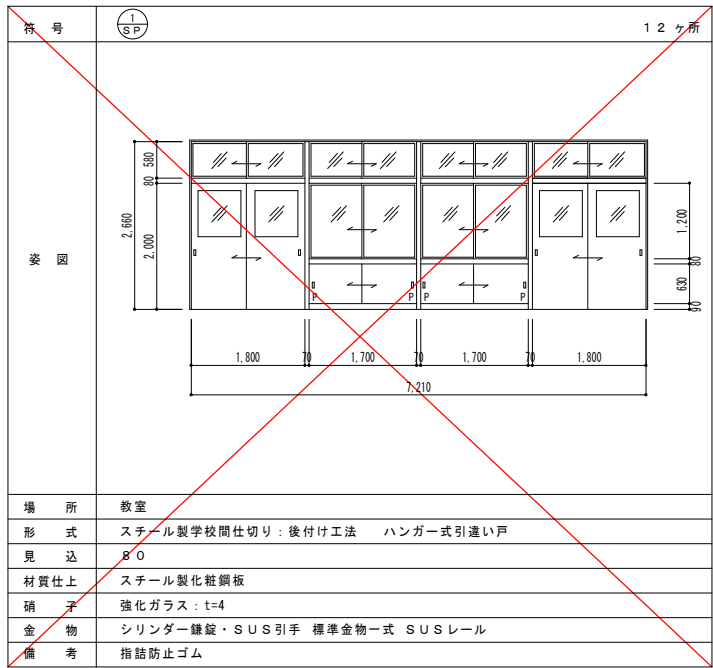
1 2ヶ所
生徒用ロッカー

S=1/30



1 2ヶ所
教室 掃除具入れ

S=1/20



1 2ヶ所
教室 改修建具図

S=1/60